

# 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 令和4年度 業務実績評価

評価基準 「S」:計画を大幅に上回っている 「A」:計画を上回っている 「B」:計画に概ね合致している 「C」:計画をやや下回っている 「D」:計画をやや下回っており、大幅な改善が必要

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																												
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																										
<b>第1 中期計画の期間</b>																																																
令和2年4月1日から令和6年3月31日までの4年間とする。																																																
<b>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</b>																																																
地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構(以下「山形県・酒田市病院機構」という。)は、「安心、信頼、高度な医療提供」、「保健、医療、福祉の地域連携」、「地域に貢献する病院経営」の基本理念のもと、地域完結型医療の実現を目指し、日本海総合病院及び日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛鳥診療所(以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。)の効率的かつ効果的な業務運営に努める。また、今後の医療需要の変化に対応するため、地域の医療機関等との機能分担・連携の推進等において、診療機能や病床規模の適正化等、地域の医療提供体制の見直し等を図る場合は、設立団体と協議しながら適切に行う。	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構(以下「山形県・酒田市病院機構」という。)は、「安心、信頼、高度な医療提供」、「保健、医療、福祉の地域連携」、「地域に貢献する病院経営」の基本理念のもと、地域完結型医療の実現を目指し、日本海総合病院及び日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛鳥診療所(以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。)の効率的かつ効果的な業務運営に努める。また、今後の医療需要の変化に対応するため、地域の医療機関等との機能分担・連携の推進等において、診療機能や病床規模の適正化等、地域の医療提供体制の見直し等を図る場合は、設立団体と協議しながら適切に行う。新型コロナウイルス感染症においては、先行きが不透明な中、今後の感染状況によっては収支に大きな影響を及ぼす可能性があり、継続的な関係機関の支援等が不可欠な状況にあるが、地域の中核的な医療機関としての機能を確保しながら、地域の医療機関等との連携のもと適切な対応に努める。																																															
<b>1 医療機能の分化・連携の推進</b>																																																
地域の医療機関等との連携を一層推進するため、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画等を通して、地域の中核的な医療機関として積極的に地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの構築に資する役割を担う。	地域の医療機関等との連携を一層推進するため、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画等を通して、地域の中核的な医療機関として積極的に地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの構築に資する役割を担う。	・地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間の連携強化、訪問看護ステーションの在り方の検討等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。 【実績】日本海ヘルスケアネット内の人事交流(令和4年度)	S	S	自己評価のとおり	S																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>出向元</th> <th>出向先</th> <th>職種</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健友会</td> <td>日本海総合病院</td> <td rowspan="3">医師</td> <td>3名</td> <td>平日診療</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>健友会</td> <td>3名</td> <td>水士日の宿日直</td> </tr> <tr> <td>医師会</td> <td>日本海酒田リハ</td> <td>2名</td> <td>宿日直</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>健友会</td> <td rowspan="2">看護師</td> <td>3名</td> <td>透析室</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>宏友会</td> <td>3名</td> <td>診療所、老健</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>健友会</td> <td>診療放射線技師</td> <td>1名</td> <td>退職者の応援</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動テーマ</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「この地域を感染から守る」</td> <td>日本海総合病院感染管理認定看護師による感染症対策マニュアルとゾーニングへのアドバイス</td> </tr> <tr> <td>目標:新型コロナウイルス感染症発生時に適切な初期対応ができクラスター発生を防ぐ</td> <td>各施設の対応やマニュアル改定に活用できるよう、感染防止対策に関する最新情報(新型コロナウイルス感染症、VRE)を毎月の会議で発信</td> </tr> <tr> <td>「北庄内地域の食支援の質の向上」</td> <td>誤嚥性肺炎予防のための知識・技術を習得するべく、専門性の高い職種が講師を担い研修会を開催 令和4年6月21日:『食事のポジショニングについて』 日本海酒田リハビリテーション病院 言語聴覚士 令和4年10月25日:『口腔ケアに関する継続看護の実践』 日本海総合病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 令和4年12月14日:『嚥下食のいろは』 日本海総合病院 管理栄養士</td> </tr> <tr> <td>目標:誤嚥性肺炎の知識・技術を修得し実践することで誤嚥性肺炎が減少する</td> <td>日本海総合病院摂食嚥下障害看護認定看護師が、令和4年12月から令和5年1月にかけて全8施設を訪問し、口腔ケア方法やOHAT等について研修、意見交換を実施</td> </tr> </tbody> </table>	出向元	出向先	職種	人数	備考	健友会	日本海総合病院	医師	3名	平日診療	病院機構	健友会	3名	水士日の宿日直	医師会	日本海酒田リハ	2名	宿日直	病院機構	健友会	看護師	3名	透析室	病院機構	宏友会	3名	診療所、老健	病院機構	健友会	診療放射線技師	1名	退職者の応援	活動テーマ	活動内容	「この地域を感染から守る」	日本海総合病院感染管理認定看護師による感染症対策マニュアルとゾーニングへのアドバイス	目標:新型コロナウイルス感染症発生時に適切な初期対応ができクラスター発生を防ぐ	各施設の対応やマニュアル改定に活用できるよう、感染防止対策に関する最新情報(新型コロナウイルス感染症、VRE)を毎月の会議で発信	「北庄内地域の食支援の質の向上」	誤嚥性肺炎予防のための知識・技術を習得するべく、専門性の高い職種が講師を担い研修会を開催 令和4年6月21日:『食事のポジショニングについて』 日本海酒田リハビリテーション病院 言語聴覚士 令和4年10月25日:『口腔ケアに関する継続看護の実践』 日本海総合病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 令和4年12月14日:『嚥下食のいろは』 日本海総合病院 管理栄養士	目標:誤嚥性肺炎の知識・技術を修得し実践することで誤嚥性肺炎が減少する	日本海総合病院摂食嚥下障害看護認定看護師が、令和4年12月から令和5年1月にかけて全8施設を訪問し、口腔ケア方法やOHAT等について研修、意見交換を実施				
出向元	出向先	職種	人数	備考																																												
健友会	日本海総合病院	医師	3名	平日診療																																												
病院機構	健友会		3名	水士日の宿日直																																												
医師会	日本海酒田リハ		2名	宿日直																																												
病院機構	健友会	看護師	3名	透析室																																												
病院機構	宏友会		3名	診療所、老健																																												
病院機構	健友会	診療放射線技師	1名	退職者の応援																																												
活動テーマ	活動内容																																															
「この地域を感染から守る」	日本海総合病院感染管理認定看護師による感染症対策マニュアルとゾーニングへのアドバイス																																															
目標:新型コロナウイルス感染症発生時に適切な初期対応ができクラスター発生を防ぐ	各施設の対応やマニュアル改定に活用できるよう、感染防止対策に関する最新情報(新型コロナウイルス感染症、VRE)を毎月の会議で発信																																															
「北庄内地域の食支援の質の向上」	誤嚥性肺炎予防のための知識・技術を習得するべく、専門性の高い職種が講師を担い研修会を開催 令和4年6月21日:『食事のポジショニングについて』 日本海酒田リハビリテーション病院 言語聴覚士 令和4年10月25日:『口腔ケアに関する継続看護の実践』 日本海総合病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 令和4年12月14日:『嚥下食のいろは』 日本海総合病院 管理栄養士																																															
目標:誤嚥性肺炎の知識・技術を修得し実践することで誤嚥性肺炎が減少する	日本海総合病院摂食嚥下障害看護認定看護師が、令和4年12月から令和5年1月にかけて全8施設を訪問し、口腔ケア方法やOHAT等について研修、意見交換を実施																																															

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																				
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																		
<b>2 持続的・安定的な医療の提供及び医療水準の向上</b>																																								
<b>(1) 高度専門医療・回復期医療等の充実・強化</b>																																								
<p>① 日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術や放射線治療の充実など、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組む。</p> <p>入退院支援センターの活用や診療情報の共有化などにより、地域の他の医療機関や介護施設と連携し、入院から退院後の在宅や介護施設への移行の円滑化を図り、地域完結型の医療の実現を目指す。</p> <p>◆日本海総合病院(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>許可病床数</td><td>一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など</td></tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合があります</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>病床稼働率</td><td>毎年度76%以上</td></tr> </table>	項目	概要	許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床	診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など	目標とする指標	目標値	病床稼働率	毎年度76%以上	<p>① 日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術や放射線治療の充実など、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組む。</p> <p>入退院支援センターの活用や診療情報の共有化などにより、地域の他の医療機関や介護施設と連携し、入院から退院後の在宅や介護施設への移行の円滑化を図り、地域完結型の医療の実現を目指す。</p> <p>◆日本海総合病院(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>許可病床数</td><td>一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など</td></tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合があります</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>病床稼働率</td><td>76%以上</td></tr> </table>	項目	概要	許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床	診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など	目標とする指標	目標値	病床稼働率	76%以上	<p>◆日本海総合病院(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>許可病床数</td><td>一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など</td></tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合があります</p> <p>・日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室での手術件数が190件、ロボット支援手術件数が130件、放射線治療件数が6,582件と高度専門医療の充実を図るとともに、併せてDPC特定病院群の適用の維持による医療の質の向上を図り、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組んだ。</p> <p>・入退院支援センターの活用や、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の活用による診療情報の共有化などにより、地域の他の医療機関や介護施設と連携し、入院から退院後の在宅や介護施設まで切れ目のない医療を提供した。</p> <p>・目標である病床稼働率については、目標値を上回ることができた。また、新型コロナウイルス感染症患者を考慮しない場合の病床稼働率でも81.1%と目標値を上回っている。</p> <p>【実績】病床稼働率(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr> <tr><td>73.7%</td><td>×</td><td>76.8%</td><td>○</td></tr> </table>	項目	概要	許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床	診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	73.7%	×	76.8%	○	A	A	自己評価のとおり	A
項目	概要																																							
許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床																																							
診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など																																							
目標とする指標	目標値																																							
病床稼働率	毎年度76%以上																																							
項目	概要																																							
許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床																																							
診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など																																							
目標とする指標	目標値																																							
病床稼働率	76%以上																																							
項目	概要																																							
許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床																																							
診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など																																							
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																					
73.7%	×	76.8%	○																																					
<p>② 日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療と慢性期医療を担う。回復期医療では、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供する。慢性期医療では、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受入れを行う。</p> <p>◆日本海酒田リハビリテーション病院(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>許可病床数</td><td>医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など</td></tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合があります</p> <p>【目標】日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>回復期リハビリテーション実績指数</td><td>毎年度40点以上</td></tr> </table>	項目	概要	許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床	診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など	目標とする指標	目標値	回復期リハビリテーション実績指数	毎年度40点以上	<p>② 日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療と慢性期医療を担う。回復期医療では、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供する。慢性期医療では、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受入れを行う。</p> <p>◆日本海酒田リハビリテーション病院(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>許可病床数</td><td>医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など</td></tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合があります</p> <p>【目標】日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>回復期リハビリテーション実績指数</td><td>40点以上</td></tr> </table>	項目	概要	許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床	診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など	目標とする指標	目標値	回復期リハビリテーション実績指数	40点以上	<p>◆日本海酒田リハビリテーション病院(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>許可病床数</td><td>医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など</td></tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合があります</p> <p>・日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療と慢性期医療を担い、回復期医療では、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供し、慢性期医療では、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受入れを行った。</p> <p>・目標である回復期リハビリテーション実績指数について、目標値を大幅に上回ることができた。</p> <p>【実績】回復期リハビリテーション実績指数(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <tr><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr> <tr><td>47.5点</td><td>○</td><td>46.7点</td><td>○</td></tr> </table>	項目	概要	許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床	診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	47.5点	○	46.7点	○	S	S	自己評価のとおり	S
項目	概要																																							
許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床																																							
診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など																																							
目標とする指標	目標値																																							
回復期リハビリテーション実績指数	毎年度40点以上																																							
項目	概要																																							
許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床																																							
診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など																																							
目標とする指標	目標値																																							
回復期リハビリテーション実績指数	40点以上																																							
項目	概要																																							
許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床																																							
診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など																																							
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																					
47.5点	○	46.7点	○																																					

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																																																																																						
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																																																																																																				
<p>③ 日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供する。また、地域の医療需要を考慮した体制でへき地医療を提供する。</p> <p>◆日本海八幡クリニック(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)</td></tr> </table> <p>◆升田診療所、青沢診療所(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科</td></tr> </table> <p>◆松山診療所、地見興屋診療所、飛島診療所(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>松山診療所:訪問診療、飛島診療所の遠隔診療</td></tr> </table>	項目	概要	標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)	項目	概要	標榜科	内科	項目	概要	標榜科	内科、外科	診療機能等	松山診療所:訪問診療、飛島診療所の遠隔診療	<p>③ 日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供する。また、地域の医療需要を考慮した体制でへき地医療を提供する。</p> <p>◆日本海八幡クリニック(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)</td></tr> </table> <p>◆升田診療所、青沢診療所(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科</td></tr> </table> <p>◆松山診療所、地見興屋診療所、飛島診療所(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>松山診療所:訪問診療、飛島診療所の遠隔診療</td></tr> </table>	項目	概要	標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)	項目	概要	標榜科	内科	項目	概要	標榜科	内科、外科	診療機能等	松山診療所:訪問診療、飛島診療所の遠隔診療	<p>・日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供した。また、地域の医療需要を考慮した体制でへき地医療を提供した。</p> <p>・日本海八幡クリニックでは、平日延長診療、土曜診療及び訪問診療の実施並びに訪問看護ステーションの運営を行った。また、松山診療所では、4月～9月は火・水・木曜日の週3日間、10月～3月は月～木曜日の週4日間診療を行った。</p> <p>・飛島診療所では、日本海総合病院の医師による出張診療や遠隔診療を行うことで、必要な医療が確保されるよう努めた。</p> <p>◆日本海八幡クリニック(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)</td></tr> </table> <p>【実績】日本海八幡クリニック</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>15,876名</td><td>16,355名</td><td>16,315名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>54.2名</td><td>55.6名</td><td>56.1名</td></tr> </table> <p>【実績】訪問看護ステーションやわた</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>延利用者数</td><td>3,525名</td><td>3,193名</td><td>3,501名</td></tr> <tr><td>1日平均利用者数</td><td>11.4名</td><td>9.4名</td><td>10.1名</td></tr> </table> <p>◆升田診療所、青沢診療所(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科</td></tr> </table> <p>【実績】升田診療所</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> <p>※令和2～4年度受診希望者なし</p> <p>【実績】青沢診療所</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>51名</td><td>62名</td><td>69名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>4.3名</td><td>5.2名</td><td>5.8名</td></tr> </table> <p>◆松山診療所、地見興屋診療所、飛島診療所(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>松山診療所:訪問診療、飛島診療所の遠隔診療</td></tr> </table> <p>【実績】松山診療所</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>3,504名</td><td>3,456名</td><td>2,929名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>17.1名</td><td>14.6名</td><td>18.5名</td></tr> </table> <p>【実績】地見興屋診療所</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>153名</td><td>111名</td><td>88名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>4.0名</td><td>2.9名</td><td>4.4名</td></tr> </table> <p>【実績】飛島診療所</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>518名</td><td>458名</td><td>422名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>3.4名</td><td>2.6名</td><td>2.7名</td></tr> </table>	項目	概要	標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	延外来患者数	15,876名	16,355名	16,315名	1日平均外来患者数	54.2名	55.6名	56.1名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	延利用者数	3,525名	3,193名	3,501名	1日平均利用者数	11.4名	9.4名	10.1名	項目	概要	標榜科	内科	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	延外来患者数	—	—	—	1日平均外来患者数	—	—	—	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	延外来患者数	51名	62名	69名	1日平均外来患者数	4.3名	5.2名	5.8名	項目	概要	標榜科	内科、外科	診療機能等	松山診療所:訪問診療、飛島診療所の遠隔診療	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	延外来患者数	3,504名	3,456名	2,929名	1日平均外来患者数	17.1名	14.6名	18.5名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	延外来患者数	153名	111名	88名	1日平均外来患者数	4.0名	2.9名	4.4名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	延外来患者数	518名	458名	422名	1日平均外来患者数	3.4名	2.6名	2.7名	B	B	自己評価のとおり	A
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																																																																																																																									
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)																																																																																																																																									
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科																																																																																																																																									
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科、外科																																																																																																																																									
診療機能等	松山診療所:訪問診療、飛島診療所の遠隔診療																																																																																																																																									
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																																																																																																																									
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)																																																																																																																																									
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科																																																																																																																																									
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科、外科																																																																																																																																									
診療機能等	松山診療所:訪問診療、飛島診療所の遠隔診療																																																																																																																																									
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																																																																																																																									
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)																																																																																																																																									
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																																							
延外来患者数	15,876名	16,355名	16,315名																																																																																																																																							
1日平均外来患者数	54.2名	55.6名	56.1名																																																																																																																																							
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																																							
延利用者数	3,525名	3,193名	3,501名																																																																																																																																							
1日平均利用者数	11.4名	9.4名	10.1名																																																																																																																																							
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科																																																																																																																																									
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																																							
延外来患者数	—	—	—																																																																																																																																							
1日平均外来患者数	—	—	—																																																																																																																																							
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																																							
延外来患者数	51名	62名	69名																																																																																																																																							
1日平均外来患者数	4.3名	5.2名	5.8名																																																																																																																																							
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科、外科																																																																																																																																									
診療機能等	松山診療所:訪問診療、飛島診療所の遠隔診療																																																																																																																																									
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																																							
延外来患者数	3,504名	3,456名	2,929名																																																																																																																																							
1日平均外来患者数	17.1名	14.6名	18.5名																																																																																																																																							
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																																							
延外来患者数	153名	111名	88名																																																																																																																																							
1日平均外来患者数	4.0名	2.9名	4.4名																																																																																																																																							
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																																							
延外来患者数	518名	458名	422名																																																																																																																																							
1日平均外来患者数	3.4名	2.6名	2.7名																																																																																																																																							

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																														
ア 診療体制の充実																																																				
(ア)救急医療																																																				
庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される救急医療の提供に努め、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携を図り、夜間救急の診療体制を維持する。	庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される救急医療の提供に努め、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携を図り、夜間救急の診療体制を維持する。	<p>・庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される医療の提供に努めた。また、救命救急センターの機能強化のため、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携し、高度な処置が必要となる重篤な患者に対する三次救急診療を日本海総合病院の医師が担い、夜間救急外来での一次救急診療については一般社団法人酒田地区医師会十全堂所属の医師が担当し、夜間救急の診療体制を維持した。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、上半期に受診患者数が増加したものの、救急医療の提供体制を維持し、救命救急センターの責務を果たせた。</p> <p>【実績】救命救急センター延べ患者数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17,141名</td> <td>19,861名</td> <td>19,662名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】酒田地区医師会診療支援による延べ患者数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科</td> <td>23名</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>198名</td> <td>131名</td> <td>98名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年10月から小児夜間診療休止</p> <p>【実績】救急車の搬送数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田地区 医療機関への搬送数 計</td> <td>4,825名</td> <td>5,106名</td> <td>5,418名</td> </tr> <tr> <td>うち日本海総合病院への搬送数</td> <td>2,852名</td> <td>3,133名</td> <td>3,645名</td> </tr> <tr> <td>鶴岡地区 医療機関への搬送数 計</td> <td>4,907名</td> <td>5,161名</td> <td>5,334名</td> </tr> <tr> <td>うち日本海総合病院への搬送数</td> <td>361名</td> <td>337名</td> <td>314名</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>庄内地域での日本海総合病院の割合</td> <td>33.0%</td> <td>33.8%</td> <td>36.8%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>救急搬送受入要請の応需率 ※</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度から算出開始</p>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	17,141名	19,861名	19,662名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	小児科	23名	—	—	その他	198名	131名	98名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	酒田地区 医療機関への搬送数 計	4,825名	5,106名	5,418名	うち日本海総合病院への搬送数	2,852名	3,133名	3,645名	鶴岡地区 医療機関への搬送数 計	4,907名	5,161名	5,334名	うち日本海総合病院への搬送数	361名	337名	314名	庄内地域での日本海総合病院の割合	33.0%	33.8%	36.8%	救急搬送受入要請の応需率 ※	100%	100%	100%	A	A	自己評価のとおり	A
令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																		
17,141名	19,861名	19,662名																																																		
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																	
小児科	23名	—	—																																																	
その他	198名	131名	98名																																																	
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																	
酒田地区 医療機関への搬送数 計	4,825名	5,106名	5,418名																																																	
うち日本海総合病院への搬送数	2,852名	3,133名	3,645名																																																	
鶴岡地区 医療機関への搬送数 計	4,907名	5,161名	5,334名																																																	
うち日本海総合病院への搬送数	361名	337名	314名																																																	
庄内地域での日本海総合病院の割合	33.0%	33.8%	36.8%																																																	
救急搬送受入要請の応需率 ※	100%	100%	100%																																																	



中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																						
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																				
<b>(イ)がん医療</b>																																										
<p>患者の状態に応じ、より適切で効果的ながん医療を提供するため、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供する。また、緩和ケアセンターを中心とした体制の下、早期に適切な緩和ケアの提供に努める。さらに、がん対策の進展に貢献するため、院内がん登録及び全国がん登録を実施する。</p>	<p>① 地域がん診療連携拠点病院として、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供する。また、より適切ながん医療を提供するため、がん登録を定期的に開催する。</p>	<p>・地域がん診療連携拠点病院として、手術や放射線療法、化学療法などの集学的治療を継続して行った。患者の状態を考慮し、より効果が高い治療の提供に努め、特に放射線療法においては令和4年4月から強度変調放射線治療(IMRT)の算定を開始したことにより、IMRTや定位放射線治療(SRT)といった高度な治療の件数が増加した。</p> <p>【実績】手術、放射線療法、外来化学療法件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術</td> <td>1,149件</td> <td>1,167件</td> <td>1,156件</td> </tr> <tr> <td>放射線療法 (実件数)</td> <td>5,978件 (241件)</td> <td>6,577件 (240件)</td> <td>6,582件 (184件)</td> </tr> <tr> <td>うちIMRT (実件数)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2,639件 (73件)</td> </tr> <tr> <td>うちSRT (実件数)</td> <td>40件 (10件)</td> <td>30件 (9件)</td> <td>27件 (9件)</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法</td> <td>7,114件</td> <td>7,730件</td> <td>7,503件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・がん登録を定期的に開催するとともに、山形大学医学部附属病院から腫瘍内科の医師の招集と多職種による検討を行い、より適切で効果的ながん医療の提供に努めた。</p> <p>【実績】がん登録実績(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>26回</td> <td>26回</td> <td>37回</td> </tr> <tr> <td>症例数</td> <td>69症例</td> <td>163症例</td> <td>141症例</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	手術	1,149件	1,167件	1,156件	放射線療法 (実件数)	5,978件 (241件)	6,577件 (240件)	6,582件 (184件)	うちIMRT (実件数)	-	-	2,639件 (73件)	うちSRT (実件数)	40件 (10件)	30件 (9件)	27件 (9件)	外来化学療法	7,114件	7,730件	7,503件	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	回数	26回	26回	37回	症例数	69症例	163症例	141症例	A	A	自己評価のとおり	A
	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																						
	手術	1,149件	1,167件	1,156件																																						
放射線療法 (実件数)	5,978件 (241件)	6,577件 (240件)	6,582件 (184件)																																							
うちIMRT (実件数)	-	-	2,639件 (73件)																																							
うちSRT (実件数)	40件 (10件)	30件 (9件)	27件 (9件)																																							
外来化学療法	7,114件	7,730件	7,503件																																							
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																							
回数	26回	26回	37回																																							
症例数	69症例	163症例	141症例																																							
<p>② 緩和ケアセンターを中心に、早期に適切な緩和ケアの提供に努める。</p>	<p>・適切な緩和ケアの早期提供のため、緩和ケアスクリーニングを行い、緩和ケア医療の充実に努めた。</p> <p>【実績】緩和ケアスクリーニング実施件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>3,934件</td> <td>4,300件</td> <td>4,368件</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>465件</td> <td>671件</td> <td>658件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医師及び多職種に対する緩和ケア研修会を開催し、緩和ケア医療提供の体制強化に努めた。</p> <p>【実績】がん診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>受講済み医師数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年11月12日</td> <td>104名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	入院	3,934件	4,300件	4,368件	外来	465件	671件	658件	実施日	受講済み医師数	令和4年11月12日	104名																									
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																							
入院	3,934件	4,300件	4,368件																																							
外来	465件	671件	658件																																							
実施日	受講済み医師数																																									
令和4年11月12日	104名																																									
<p>③ がん対策の進展に貢献するよう、院内がん登録及び全国がん登録を実施する。</p>	<p>・がん対策の進展に貢献するよう、中級認定者を専従として1名配置し、院内がん登録及び全国がん登録を実施した。</p> <p>【実績】がん登録件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象年</td> <td>2019年症例</td> <td>2020年症例</td> <td>2021年症例</td> </tr> <tr> <td>院内がん登録</td> <td>1,874件</td> <td>1,881件</td> <td>1,961件</td> </tr> <tr> <td>全国がん登録</td> <td>1,885件</td> <td>1,891件</td> <td>1,969件</td> </tr> </tbody> </table> <p>庄内地域での日本海総合病院の割合 ※</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>69.0%</td> <td>72.2%</td> <td>67.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※国立がん研究センター院内がん登録全国集計から算出</p>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対象年	2019年症例	2020年症例	2021年症例	院内がん登録	1,874件	1,881件	1,961件	全国がん登録	1,885件	1,891件	1,969件		令和2年度	令和3年度	令和4年度	割合	69.0%	72.2%	67.0%																	
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																							
対象年	2019年症例	2020年症例	2021年症例																																							
院内がん登録	1,874件	1,881件	1,961件																																							
全国がん登録	1,885件	1,891件	1,969件																																							
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																							
割合	69.0%	72.2%	67.0%																																							

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																								
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																						
(ウ)脳卒中・心筋梗塞等の心血管疾患																																																												
① 急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努める。	① 急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努める。	<p>・急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努めた。また、継続して休日のリハビリテーションを提供した。</p> <p>【実績】疾患別リハビリテーション実施状況(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管</td> <td>733名</td> <td>43,815回</td> <td>763名</td> <td>45,582回</td> <td>851名</td> <td>48,047回</td> </tr> <tr> <td>心大血管</td> <td>689名</td> <td>14,400回</td> <td>639名</td> <td>10,849回</td> <td>638名</td> <td>9,731回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】休日のリハビリテーション実施状況(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管</td> <td>630名</td> <td>5,650回</td> <td>695名</td> <td>5,660回</td> <td>612名</td> <td>2,706回</td> </tr> <tr> <td>心大血管</td> <td>500名</td> <td>1,578回</td> <td>440名</td> <td>1,213回</td> <td>395名</td> <td>757回</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	脳血管	733名	43,815回	763名	45,582回	851名	48,047回	心大血管	689名	14,400回	639名	10,849回	638名	9,731回	区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	脳血管	630名	5,650回	695名	5,660回	612名	2,706回	心大血管	500名	1,578回	440名	1,213回	395名	757回	B	B	自己評価のとおり	A
区分	令和2年度			令和3年度		令和4年度																																																						
	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数																																																						
脳血管	733名	43,815回	763名	45,582回	851名	48,047回																																																						
心大血管	689名	14,400回	639名	10,849回	638名	9,731回																																																						
区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度																																																							
	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数																																																						
脳血管	630名	5,650回	695名	5,660回	612名	2,706回																																																						
心大血管	500名	1,578回	440名	1,213回	395名	757回																																																						
② 脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制を整える。	② 脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制に努める。	<p>・脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制を整え、医師・看護師・コメディカルスタッフと連携し、適切かつ速やかな治療を提供した。</p> <p>【実績】血栓回収療法、t-PA実施件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>血栓回収療法</td> <td>2件</td> <td>5件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>t-PA</td> <td>16件</td> <td>26件</td> <td>18件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	血栓回収療法	2件	5件	4件	t-PA	16件	26件	18件																																														
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																									
血栓回収療法	2件	5件	4件																																																									
t-PA	16件	26件	18件																																																									
③ 酒田地区広域行政組合消防本部との連携により、12誘導心電図伝送装置を活用するなど、心筋梗塞等の早期診断に努める。	③ 酒田地区広域行政組合消防本部との連携により、12誘導心電図伝送装置を活用するなど、心筋梗塞等の早期診断に努める。	<p>・酒田及び鶴岡地区管内全ての救急隊に配備されている12誘導心電図伝送システムを活用し、重篤患者の治療を行った。</p> <p>【実績】12誘導心電図伝送件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>271件</td> <td>348件</td> <td>357件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※酒田地区:平成31年2月から運用開始 ※鶴岡地区:令和2年12月から運用開始</p> <p>・急性心筋梗塞の救急搬送患者に対して、速やかに集中治療室に転送し、迅速な救命治療を実施した。また、病院に到着する前に院内放送で心筋梗塞チームを参集し、救急搬送直後から治療にとりかかるシステムを構築し、運用している。</p> <p>【実績】経皮的冠動脈形成術及び経皮的冠動脈ステント留置術件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性心筋梗塞に対するもの</td> <td>43件</td> <td>42件</td> <td>44件</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	271件	348件	357件	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	急性心筋梗塞に対するもの	43件	42件	44件																																												
令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																										
271件	348件	357件																																																										
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																									
急性心筋梗塞に対するもの	43件	42件	44件																																																									

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																						
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																																				
<b>(エ) 糖尿病</b>																																																																										
<p>医師、看護師及び管理栄養士等が協働して、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を行う。</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>糖尿病教室</td> <td>毎年度15回以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	糖尿病教室	毎年度15回以上	<p>医師、看護師及び管理栄養士等が協働して、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を行う。</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>糖尿病教室</td> <td>15回以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	糖尿病教室	15回以上	<p>・医師・看護師・管理栄養士等が協働し、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を継続して行った。</p> <p>【実績】糖尿病教室(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>13回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>23名</td> <td>28名</td> <td>34名</td> </tr> </table> <p>【実績】糖尿病透析予防指導の実患者数、指導回数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <td>実患者数</td> <td>6名</td> <td>5名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>指導回数</td> <td>29回</td> <td>25回</td> <td>10回</td> </tr> </table> <p>【実績】教育入院患者数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <td>69名</td> <td>119名</td> <td>239名</td> <td>217人</td> </tr> </table> <p>【実績】個別栄養指導件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>335件</td> <td>482件</td> <td>443件</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>223件</td> <td>220件</td> <td>219件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>558件</td> <td>702件</td> <td>662件</td> </tr> </table> <p>・目標である糖尿病教室について、新型コロナウイルス感染症による影響から目標値を下回ったが、糖尿病教室の参加人数は増加した。</p> <p>【実績】糖尿病教室(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>10回</td> <td>×</td> <td>10回</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>13回</td> <td>×</td> </tr> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	開催回数	10回	10回	13回	参加人数	23名	28名	34名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実患者数	6名	5名	3名	指導回数	29回	25回	10回	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	69名	119名	239名	217人	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	入院	335件	482件	443件	外来	223件	220件	219件	合計	558件	702件	662件	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	10回	×	10回	×			13回	×	B	B	自己評価のとおり	B
目標とする指標	目標値																																																																									
糖尿病教室	毎年度15回以上																																																																									
目標とする指標	目標値																																																																									
糖尿病教室	15回以上																																																																									
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																							
開催回数	10回	10回	13回																																																																							
参加人数	23名	28名	34名																																																																							
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																							
実患者数	6名	5名	3名																																																																							
指導回数	29回	25回	10回																																																																							
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																							
69名	119名	239名	217人																																																																							
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																							
入院	335件	482件	443件																																																																							
外来	223件	220件	219件																																																																							
合計	558件	702件	662件																																																																							
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																							
10回	×	10回	×																																																																							
		13回	×																																																																							
<b>(オ) 精神疾患</b>																																																																										
<p>地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、身体合併症患者への診療など総合病院として担うべき精神医療を提供する。</p>	<p>地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、身体合併症患者への診療など総合病院として担うべき精神医療を提供する。</p>	<p>・地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、身体合併症患者への診療など総合病院として担うべき医療を提供した。</p> <p>【実績】他の精神科病院から日本海総合病院に紹介等され入院した患者数</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <td>45名</td> <td>51名</td> <td>64名</td> </tr> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	45名	51名	64名	B	B	自己評価のとおり	B																																																														
令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																								
45名	51名	64名																																																																								
<b>(カ) 小児・周産期医療</b>																																																																										
<p>① 二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩の対応、母体搬送及び新生児搬送の受入れを行う。</p>	<p>① 二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩の対応、母体搬送及び新生児搬送の受入れを行う。</p>	<p>・二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩への対応など、周産期に係る高度な産科医療を提供した。また、新型コロナウイルス感染症の妊婦の分娩を実施した。(令和3年度:2件、令和4年度:15件)</p> <p>【実績】母体・新生児救急搬送患者数等状況(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <td>母体</td> <td>10名</td> <td>17名</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>新生児</td> <td>6名</td> <td>10名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>緊急帝王切開術</td> <td>38件</td> <td>33件</td> <td>56件</td> </tr> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	母体	10名	17名	10名	新生児	6名	10名	2名	緊急帝王切開術	38件	33件	56件	A	A	自己評価のとおり	A																																																				
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																							
母体	10名	17名	10名																																																																							
新生児	6名	10名	2名																																																																							
緊急帝王切開術	38件	33件	56件																																																																							
<p>② 地域の住民が安心して出産し、かつ子育てができるよう良質な医療を提供するとともに、三次周産期医療機関である総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターとの連携を図る。</p>	<p>② 地域の住民が安心して出産し、かつ子育てができるよう良質な医療を提供するとともに、三次周産期医療機関である総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターとの連携を図る。</p>	<p>・産婦人科専門医4名及び小児科専門医4名の体制により、地域の住民が安心して出産できる環境を提供した。</p> <p>・三次周産期医療機関である山形県立中央病院及び鶴岡市立荘内病院との連携を図り、母体・新生児の救急搬送を適切に行った。</p> <p>【実績】母体・新生児の救急搬送患者数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <td>母体</td> <td>12名</td> <td>7名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>新生児</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>2名</td> </tr> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	母体	12名	7名	12名	新生児	2名	0名	2名																																																												
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																							
母体	12名	7名	12名																																																																							
新生児	2名	0名	2名																																																																							

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																												
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																										
<b>(キ)回復期リハビリテーション</b>																																																
脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供する。	脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供する。	<p>・脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供した。</p> <p>【実績】疾患別リハビリテーション実施状況(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管リハ</td> <td>236名</td> <td>87,764回</td> <td>237名</td> <td>86,837回</td> <td>245名</td> <td>83,159回</td> </tr> <tr> <td>運動器リハ</td> <td>200名</td> <td>54,944回</td> <td>221名</td> <td>57,168回</td> <td>206名</td> <td>57,561回</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	脳血管リハ	236名	87,764回	237名	86,837回	245名	83,159回	運動器リハ	200名	54,944回	221名	57,168回	206名	57,561回	A	A	自己評価のとおり	A															
区分	令和2年度			令和3年度		令和4年度																																										
	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数																																										
脳血管リハ	236名	87,764回	237名	86,837回	245名	83,159回																																										
運動器リハ	200名	54,944回	221名	57,168回	206名	57,561回																																										
<b>(ク)在宅医療支援及び療養支援</b>																																																
① 退院後、在宅療養へ患者が円滑に移行し、切れ目なくサービスの提供を受けることができるよう、入院初期から積極的に支援を行う。	① 退院後、在宅療養へ患者が円滑に移行し、切れ目なくサービスの提供を受けることができるよう、入院初期から積極的に支援を行う。	<p>・退院支援においては、入退院支援センター看護師、医療・福祉センターの社会福祉士が共同し、切れ目なくサービスが受けられるよう、地域の介護・福祉・医療機関等との連携を行った。退院困難の事例においては、多職種によるカンファレンスを行い、患者が住み慣れた地域での暮らし、患者家族が望む退院先を自己決定できるように支援を行った。</p> <p>・また、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、関係各所と連携を密に図ることで、患者や家族が希望する退院先への調整を行った。</p> <p>・入退院支援センターにおいては、入院前より退院困難な要因の抽出を行い、経済的な問題等があれば、早期に社会福祉士への情報提供を行った。在宅療養への不安がある患者については、入院前から退院支援看護師が介護保険の説明等を行い、不安軽減に努めた。</p> <p>・退院後においても、在宅療養で不安や問題が生じた際には、患者、家族からの相談に応じ、在宅医や訪問看護、ケアマネジャー等とも情報共有を行い、継続した支援を実施した。</p> <p>【実績】入院前スクリーニング実施件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,317名</td> <td>5,752名</td> <td>5,525名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】退院調整件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>他病院</td> <td>925件</td> <td>927件</td> <td>994件</td> </tr> <tr> <td>在宅</td> <td>12,426件</td> <td>12,862件</td> <td>12,351件</td> </tr> <tr> <td>介護老人保健施設</td> <td>95件</td> <td>134件</td> <td>142件</td> </tr> <tr> <td>介護老人福祉施設</td> <td>131件</td> <td>106件</td> <td>100件</td> </tr> <tr> <td>ショートステイ</td> <td>91件</td> <td>120件</td> <td>135件</td> </tr> <tr> <td>有料老人ホーム</td> <td>216件</td> <td>261件</td> <td>260件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>110件</td> <td>68件</td> <td>50件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,994件</td> <td>14,478件</td> <td>14,032件</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	6,317名	5,752名	5,525名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	他病院	925件	927件	994件	在宅	12,426件	12,862件	12,351件	介護老人保健施設	95件	134件	142件	介護老人福祉施設	131件	106件	100件	ショートステイ	91件	120件	135件	有料老人ホーム	216件	261件	260件	その他	110件	68件	50件	合計	13,994件	14,478件	14,032件	A	A	自己評価のとおり	A
令和2年度	令和3年度	令和4年度																																														
6,317名	5,752名	5,525名																																														
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																													
他病院	925件	927件	994件																																													
在宅	12,426件	12,862件	12,351件																																													
介護老人保健施設	95件	134件	142件																																													
介護老人福祉施設	131件	106件	100件																																													
ショートステイ	91件	120件	135件																																													
有料老人ホーム	216件	261件	260件																																													
その他	110件	68件	50件																																													
合計	13,994件	14,478件	14,032件																																													
② 在宅患者が安心して地域で療養ができるよう、通所及び訪問リハビリテーションを実施する。また、在宅医療を行っている診療所等で、入院治療が必要となった患者の受入れなどの支援を行う。	② 在宅患者が安心して地域で療養ができるよう、通所及び訪問リハビリテーションを実施する。また、在宅医療を行っている診療所等で、入院治療が必要となった患者の受入れなどの支援を行う。	<p>・在宅患者が安心して地域で療養できるように、通所リハビリテーションを実施した。</p> <p>【実績】通所及び訪問リハビリテーション延べ利用者数(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通所リハ</td> <td>3,841名</td> <td>3,095名</td> <td>1,141名</td> </tr> <tr> <td>訪問リハ</td> <td>229名</td> <td>179名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※訪問リハビリテーション:令和4年1月から休止 ※通所リハビリテーション:令和4年10月から休止</p> <p>・在宅医療を行っている診療所等と連携を図り、入院治療が必要となった患者の受入を適切に行い、レスパイト入院等が増加した。</p> <p>【実績】診療所等からの入院受入患者数(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6名</td> <td>28名</td> <td>32名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	通所リハ	3,841名	3,095名	1,141名	訪問リハ	229名	179名	0名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	6名	28名	32名																												
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																													
通所リハ	3,841名	3,095名	1,141名																																													
訪問リハ	229名	179名	0名																																													
令和2年度	令和3年度	令和4年度																																														
6名	28名	32名																																														



中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																
<b>(ケ)一次医療とプライマリ・ケアの提供、充実</b>																																						
へき地医療等、地域医療の維持、確保のため、診療所が設置されている各地域において、日常的な病気やけが等の患者に医療とプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関等に紹介するなど連携を図る。	へき地医療等、地域医療の維持、確保のため、診療所が設置されている各地域において、日常的な病気やけが等の患者に医療とプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関等に紹介するなど連携を図る。	<p>・診療所が設置されている各地域において、へき地医療等、地域医療の維持、確保を図り、一次医療の提供を行った。また、各診療所においては、総合診療を行うプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関に紹介する等、連携した医療の提供を行った。</p> <p>【実績】日本海総合病院への紹介件数(日本海八幡クリニック等診療所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海八幡クリニック</td> <td>321件</td> <td>337件</td> <td>347件</td> </tr> <tr> <td>松山診療所</td> <td>86件</td> <td>80件</td> <td>52件</td> </tr> <tr> <td>飛島診療所</td> <td>15件</td> <td>15件</td> <td>7件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】日本海総合病院以外への紹介件数(日本海八幡クリニック等診療所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海八幡クリニック</td> <td>123件</td> <td>132件</td> <td>87件</td> </tr> <tr> <td>松山診療所</td> <td>28件</td> <td>22件</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>飛島診療所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	日本海八幡クリニック	321件	337件	347件	松山診療所	86件	80件	52件	飛島診療所	15件	15件	7件	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	日本海八幡クリニック	123件	132件	87件	松山診療所	28件	22件	12件	飛島診療所	—	—	5件	B	B	自己評価のとおり	B
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																			
日本海八幡クリニック	321件	337件	347件																																			
松山診療所	86件	80件	52件																																			
飛島診療所	15件	15件	7件																																			
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																			
日本海八幡クリニック	123件	132件	87件																																			
松山診療所	28件	22件	12件																																			
飛島診療所	—	—	5件																																			
<b>イ 高度医療機器の計画的な更新・整備</b>																																						
高度専門医療等の充実のため、中期計画期間中における医療機器の更新、整備計画を策定するとともに、高額医療機器については、利用見込みや収支予測を行い計画的な更新、整備を行う。	高度専門医療等の充実のため、中期計画期間中における医療機器の更新、整備計画を策定するとともに、高額医療機器については、利用見込みや収支予測を行い計画的な更新、整備を行う。	<p>・高度専門医療機関等の医療機器の更新にあたっては、整備計画を策定し、それに従い整備を行った。財源としては起債及び剰余金を活用した。</p> <p>・高度医療機器については、フルデジタルガンマカメラ等、医療機器整備計画及び利用見込み並びに収支予測を行い、計画的に更新・整備を行った。</p>	B	B	自己評価のとおり	B																																
<b>ウ 災害時や健康危機における医療協力</b>																																						
① 災害拠点病院として機能するよう、定期的に災害対応訓練を実施するとともに、災害時に必要な医療物資等の備蓄を行う。また大規模災害発生時には、県の要請等に基づき、DMAT(災害派遣医療チーム)等の現地派遣及びSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営に協力するなど医療支援活動を行う。	① 災害拠点病院として機能するよう、定期的に災害対応訓練を実施するとともに、災害時に必要な医療物資等の備蓄を行う。	<p>・新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、研修会・訓練を開催し、トリアージ研修会や机上訓練については、3年ぶりに開催した。実働訓練は、開催直前の新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となったが、代替の研修会を開催し、災害拠点病院として機能するための準備を行った。</p> <p>【実績】災害医療研修及び訓練(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年6月17日～ 令和4年9月30日</td> <td>(災害医療研修会／動画配信) 災害医療の基礎とトリアージ</td> <td>657名</td> </tr> <tr> <td>令和4年7月8日</td> <td>(災害医療研修会／トリアージ研修会) 模擬患者を使った”トリアージ研修会”</td> <td>137名</td> </tr> <tr> <td>令和4年9月11日</td> <td>(災害対応訓練／机上訓練) 机上での災害対応訓練の流れ</td> <td>142名</td> </tr> <tr> <td>令和4年11月～ 令和5年2月</td> <td>(災害医療研修会)災害拠点病院指定要件について 当院の現状確認／資器材・備品等の見直し</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>・災害時に必要な備蓄について、医療物資等及び食料の備蓄を実施するとともに、燃料等の優先納入契約に関する協定を継続した。</p> <p>【実績】医療物資等及び食料の備蓄(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>白米40ケース・五目御飯20ケース・防災食1,000パック・野菜カレー1,020パック他</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>米(白米・ワカメ・山菜)各20ケース・牛丼の具20ケース・シチュー5ケース・水168ケース 他</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】燃料等の優先納入契約に関する協定(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>締結日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年4月1日</td> <td>災害時におけるA重油の優先供給に関する協定</td> </tr> <tr> <td>令和4年4月1日</td> <td>災害時におけるガソリン等の優先供給に関する協定</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	内容	参加人数	令和4年6月17日～ 令和4年9月30日	(災害医療研修会／動画配信) 災害医療の基礎とトリアージ	657名	令和4年7月8日	(災害医療研修会／トリアージ研修会) 模擬患者を使った”トリアージ研修会”	137名	令和4年9月11日	(災害対応訓練／机上訓練) 机上での災害対応訓練の流れ	142名	令和4年11月～ 令和5年2月	(災害医療研修会)災害拠点病院指定要件について 当院の現状確認／資器材・備品等の見直し	—	年度	内容	令和3年度	白米40ケース・五目御飯20ケース・防災食1,000パック・野菜カレー1,020パック他	令和4年度	米(白米・ワカメ・山菜)各20ケース・牛丼の具20ケース・シチュー5ケース・水168ケース 他	締結日	内容	令和4年4月1日	災害時におけるA重油の優先供給に関する協定	令和4年4月1日	災害時におけるガソリン等の優先供給に関する協定	A	A	自己評価のとおり	A					
実施日	内容	参加人数																																				
令和4年6月17日～ 令和4年9月30日	(災害医療研修会／動画配信) 災害医療の基礎とトリアージ	657名																																				
令和4年7月8日	(災害医療研修会／トリアージ研修会) 模擬患者を使った”トリアージ研修会”	137名																																				
令和4年9月11日	(災害対応訓練／机上訓練) 机上での災害対応訓練の流れ	142名																																				
令和4年11月～ 令和5年2月	(災害医療研修会)災害拠点病院指定要件について 当院の現状確認／資器材・備品等の見直し	—																																				
年度	内容																																					
令和3年度	白米40ケース・五目御飯20ケース・防災食1,000パック・野菜カレー1,020パック他																																					
令和4年度	米(白米・ワカメ・山菜)各20ケース・牛丼の具20ケース・シチュー5ケース・水168ケース 他																																					
締結日	内容																																					
令和4年4月1日	災害時におけるA重油の優先供給に関する協定																																					
令和4年4月1日	災害時におけるガソリン等の優先供給に関する協定																																					
	② 大規模災害発生時には、県の要請等に基づき、DMAT(災害派遣医療チーム)等の現地派遣及びSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営に協力するなど医療支援活動を行う。	<p>・大規模災害発生時に、県の要請等によるDMAT(災害派遣医療チーム)の現地派遣要請へ備え、大規模地震時医療活動訓練や各種研修会に参加し、職員の技能維持等に取り組んだ。</p> <p>・SCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営協力として、山形県所有のSCU医療資材について、日本海総合病院で保管・点検等を実施し、緊急時に備えた。</p>																																				

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																												
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																										
<p>② 地域住民の生命を脅かす新たな感染症や薬物・食中毒等の健康危機事象が発生したときは、関係機関との緊密な連携のもと迅速な対応ができるよう、定期的に訓練や研修を行う。</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>災害等に係る訓練及び研修</td> <td>毎年度4回以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	災害等に係る訓練及び研修	毎年度4回以上	<p>③ 地域住民の生命を脅かす新たな感染症や薬物・食中毒等の健康危機事象が発生したときは、関係機関との緊密な連携のもと迅速な対応ができるよう、定期的に訓練や研修を行う。</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>災害等に係る訓練及び研修</td> <td>4回以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	災害等に係る訓練及び研修	4回以上	<p>・日本海総合病院、鶴岡市立荘内病院、庄内保健所の3機関が主催となり、新興感染症等の発生を想定した合同訓練をオンライン形式で実施した。訓練内容は、新型コロナウイルス感染症対応に係る個人防護具の着脱方法の動画視聴と実際の着脱訓練を実施した。本訓練に参加した医療機関等は73機関、約200名となり、地域の感染対策の向上を図った。</p> <p>・山形県等の要請により、感染管理に精通した医師や看護師等で構成する感染症専門班等をクラスター発生施設に派遣し、感染管理助言等の支援を行った。</p> <p>【実績】クラスター発生施設への感染症専門班等の派遣(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>依頼元</th> <th>派遣先</th> <th>期間</th> <th>職種</th> <th>延活動日数</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山形県</td> <td>酒田市 特別養護老人ホーム(3施設)</td> <td>令和4年 4・5・10月</td> <td>感染管理認定看護師</td> <td>6日</td> <td rowspan="4">・ゾーニングの状況確認等 ・ゾーニング及びPPE着脱等の感染防止対策指導等</td> </tr> <tr> <td>山形県</td> <td>酒田市 老人保健施設(1施設)</td> <td>令和4年 4月</td> <td>感染管理認定看護師</td> <td>2日</td> </tr> <tr> <td>山形県</td> <td>酒田市、三川町 他(有料老人ホーム等)</td> <td>令和4年 5・6・8・10月</td> <td>感染管理認定看護師</td> <td>13日</td> </tr> <tr> <td>山形県</td> <td>酒田市 医療法人</td> <td>令和4年 4月</td> <td>感染管理認定看護師</td> <td>2日</td> </tr> </tbody> </table> <p>・目標である災害等に係る訓練及び研修について、目標値どおり実施することができた。</p> <p>【実績】災害等に係る訓練及び研修回数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3回</td> <td>×</td> <td>4回</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	依頼元	派遣先	期間	職種	延活動日数	活動内容	山形県	酒田市 特別養護老人ホーム(3施設)	令和4年 4・5・10月	感染管理認定看護師	6日	・ゾーニングの状況確認等 ・ゾーニング及びPPE着脱等の感染防止対策指導等	山形県	酒田市 老人保健施設(1施設)	令和4年 4月	感染管理認定看護師	2日	山形県	酒田市、三川町 他(有料老人ホーム等)	令和4年 5・6・8・10月	感染管理認定看護師	13日	山形県	酒田市 医療法人	令和4年 4月	感染管理認定看護師	2日	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3回	×	4回	○			
目標とする指標	目標値																																															
災害等に係る訓練及び研修	毎年度4回以上																																															
目標とする指標	目標値																																															
災害等に係る訓練及び研修	4回以上																																															
依頼元	派遣先	期間	職種	延活動日数	活動内容																																											
山形県	酒田市 特別養護老人ホーム(3施設)	令和4年 4・5・10月	感染管理認定看護師	6日	・ゾーニングの状況確認等 ・ゾーニング及びPPE着脱等の感染防止対策指導等																																											
山形県	酒田市 老人保健施設(1施設)	令和4年 4月	感染管理認定看護師	2日																																												
山形県	酒田市、三川町 他(有料老人ホーム等)	令和4年 5・6・8・10月	感染管理認定看護師	13日																																												
山形県	酒田市 医療法人	令和4年 4月	感染管理認定看護師	2日																																												
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																													
3回	×	4回	○																																													
エ 政策医療の実施																																																
<p>① 第二種感染症指定医療機関として感染症に迅速かつ的確に対応するため、受入体制及び備品等の整備に努める。</p>	<p>① 第二種感染症指定医療機関として感染症に迅速かつ的確に対応するため、受入体制及び備品等の整備に努める。新型コロナウイルス感染症への対応については、県、市及び地域の医療機関等と連携を図りながら、重点医療機関として患者の受け入れや病床確保等の体制を整え、今後の進展等、状況に応じて迅速かつ柔軟な対応に努める。</p>	<p>・第二種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症接触者の検体採取及び陽性者の診察を積極的に受入れた。また、重点医療機関として専用病床を確保し、新型コロナウイルス感染症患者の診療及び入院受け入れを行った。</p> <p>【実績】新型コロナウイルス感染症患者の受入等(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二類感染症患者入院診療加算延べ算定患者数(新型コロナウイルス感染症患者除く)</td> <td>59名</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症に係る検査延べ人数</td> <td>21,630件</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症による延べ入院患者数(うち透析治療患者数)</td> <td>3,386名 28名</td> </tr> <tr> <td>自宅療養に係る開業医への紹介件数(電話診療)</td> <td>3,094名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	人数等	二類感染症患者入院診療加算延べ算定患者数(新型コロナウイルス感染症患者除く)	59名	新型コロナウイルス感染症に係る検査延べ人数	21,630件	新型コロナウイルス感染症による延べ入院患者数(うち透析治療患者数)	3,386名 28名	自宅療養に係る開業医への紹介件数(電話診療)	3,094名	S	S	自己評価のとおり	S																																
区分	人数等																																															
二類感染症患者入院診療加算延べ算定患者数(新型コロナウイルス感染症患者除く)	59名																																															
新型コロナウイルス感染症に係る検査延べ人数	21,630件																																															
新型コロナウイルス感染症による延べ入院患者数(うち透析治療患者数)	3,386名 28名																																															
自宅療養に係る開業医への紹介件数(電話診療)	3,094名																																															
<p>② 認知症疾患医療センターとして、認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、周辺症状と身体合併症の急性期治療、専門医療相談等を実施する。</p>	<p>② 認知症疾患医療センターとして、認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、周辺症状と身体合併症の急性期治療、専門医療相談等を実施する。</p>	<p>・認知症疾患医療センターとして、認知症患者の状況等に応じた専門医療相談、鑑別診断等を実施した。</p> <p>【実績】認知症疾患医療センター相談件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規</td> <td>315件</td> <td>442件</td> <td>435件</td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td>218件</td> <td>207件</td> <td>250件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	新規	315件	442件	435件	継続	218件	207件	250件	B	B	自己評価のとおり	B																														
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																													
新規	315件	442件	435件																																													
継続	218件	207件	250件																																													
<p>③ 精神疾患及び身体合併症を伴う精神疾患患者に対する精神医療提供体制をより充実させるため、精神病床設置について検討する。</p>	<p>③ 精神疾患及び身体合併症を伴う精神疾患患者に対する精神医療提供体制をより充実させるため、精神病床設置について検討する。</p>	<p>・精神疾患及び身体合併症を伴う精神疾患患者に対する精神医療提供体制の充実のための精神病床設置について、新型コロナウイルス感染症の動向等を鑑み、検討を保留することとした。</p>	B	B	自己評価のとおり	B																																										

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価				設立団体による評価																																			
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】				自己評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																	
<p>④ 脳死下臓器移植について、臓器提供施設として定期的に研修等を実施する。</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修</td> <td>毎年度1回以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修	毎年度1回以上	<p>④ 脳死下臓器移植について、臓器提供施設として定期的に研修等を実施する。</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修</td> <td>1回以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修	1回以上	<p>・脳死下臓器移植について、提供施設として院内コーディネーターを中心としたシミュレーション(机上)を実施した。また、年2回開催された県主催の院内コーディネーター会議にもWebで参加した。</p> <p>【実績】臓器提供シミュレーション(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>実施日</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>令和4年12月26日</td> <td>脳死下臓器移植提供シナリオ読み合わせ</td> <td>19名</td> </tr> </table> <p>・目標である脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修について、目標値どおり実施することができた。</p> <p>【実績】脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修回数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>2回</td> <td>0</td> <td>1回</td> <td>0</td> </tr> </table>				実施日	内容	参加人数	令和4年12月26日	脳死下臓器移植提供シナリオ読み合わせ	19名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	2回	0	1回	0	A	A	自己評価のとおり	B										
目標とする指標	目標値																																								
脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修	毎年度1回以上																																								
目標とする指標	目標値																																								
脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修	1回以上																																								
実施日	内容	参加人数																																							
令和4年12月26日	脳死下臓器移植提供シナリオ読み合わせ	19名																																							
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																						
2回	0	1回	0																																						
(2) 医療スタッフの確保及び資質向上																																									
ア 医療人材の確保・育成																																									
<p>① 高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師に加え、診療放射線技師、臨床検査技師などの医療従事者の適切な人員確保に努める。</p>	<p>① 高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師に加え、診療放射線技師、臨床検査技師などの医療従事者の適切な人員確保に努める。</p>	<p>・高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師・薬剤師・看護師のほか医療職8職種の募集、職員採用試験を計画的に実施し、医療従事者の確保に努めた。</p> <p>・採用実績は、看護師32名、医療技術者については計22名の職員を確保した。(医師、事務職除く)</p> <p>【実績】採用者人数(令和4年度採用試験)</p> <table border="1"> <tr> <th>職 種</th> <th>令和4年12月採用数</th> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>1名</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>職 種</th> <th>令和5年4月採用数</th> </tr> <tr> <td>初期臨床研修医</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>32名</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>64名</td> </tr> </table>				職 種	令和4年12月採用数	言語聴覚士	1名	管理栄養士	1名	職 種	令和5年4月採用数	初期臨床研修医	12名	薬剤師	1名	看護師	32名	診療放射線技師	1名	臨床検査技師	4名	理学療法士	4名	作業療法士	3名	言語聴覚士	1名	臨床工学技士	2名	管理栄養士	2名	社会福祉士	2名	計	64名	S	S	自己評価のとおり	S
職 種	令和4年12月採用数																																								
言語聴覚士	1名																																								
管理栄養士	1名																																								
職 種	令和5年4月採用数																																								
初期臨床研修医	12名																																								
薬剤師	1名																																								
看護師	32名																																								
診療放射線技師	1名																																								
臨床検査技師	4名																																								
理学療法士	4名																																								
作業療法士	3名																																								
言語聴覚士	1名																																								
臨床工学技士	2名																																								
管理栄養士	2名																																								
社会福祉士	2名																																								
計	64名																																								
<p>② 医師の働き方改革の動向を踏まえ、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するなど環境の整備を図る。</p>	<p>② 医師の働き方改革の動向を踏まえ、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するなど環境の整備を図る。</p>	<p>・医師の働き方改革の動向を踏まえ、特定行為管理委員会において、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するための環境を整備し、医師の負担軽減を図った。</p> <p>【実績】特定行為実施件数</p> <table border="1"> <tr> <th>特定行為</th> <th>件数</th> </tr> <tr> <td>侵襲的陽圧換気の設定の変更</td> <td>123件</td> </tr> <tr> <td>人工呼吸器からの離脱</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>持続点滴中のカテコラミンの投与量の調節</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>持続点滴中の降圧剤の投与量の調整</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>脱水症状に対する輸液による補正</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>橈骨動脈ラインの確保</td> <td>85件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>228件</td> </tr> </table>				特定行為	件数	侵襲的陽圧換気の設定の変更	123件	人工呼吸器からの離脱	6件	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	7件	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調節	1件	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	2件	脱水症状に対する輸液による補正	4件	橈骨動脈ラインの確保	85件	合計	228件																		
特定行為	件数																																								
侵襲的陽圧換気の設定の変更	123件																																								
人工呼吸器からの離脱	6件																																								
胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	7件																																								
持続点滴中のカテコラミンの投与量の調節	1件																																								
持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	2件																																								
脱水症状に対する輸液による補正	4件																																								
橈骨動脈ラインの確保	85件																																								
合計	228件																																								
<p>③ 初期臨床研修医及び専攻医(専門分野の研修医)を積極的に受け入れるなど、医師の確保に努める。</p>	<p>③ 初期臨床研修医及び専攻医(専門分野の研修医)を積極的に受け入れるなど、医師の確保に努める。</p>	<p>・新専門医制度の下で、基幹施設として研修実施可能な4診療科(内科、外科、産婦人科、麻酔科)及び連携施設(内科、外科、精神科、整形外科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、泌尿器科、脳神経外科、形成外科、放射線科、病理診断科、救急科)として、多くの専攻医を受け入れ、医師確保に努めた。</p> <p>【実績】臨床研修医及び専攻医(レジデント)受入れ人数</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <td>68名</td> <td>68名</td> <td>67名</td> </tr> </table>				令和2年度	令和3年度	令和4年度	68名	68名	67名																														
令和2年度	令和3年度	令和4年度																																							
68名	68名	67名																																							



中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																	
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																															
④ 教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上を図る。	④ 教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上を図る。	・教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上を図るため、外部講師派遣による役職別研修や各部門独自で専門能力を高める研修を実施した。																																																																			
⑤ 看護師や助産師の育成及び確保のため、看護師等修学資金貸与制度を継続して実施する。	⑤ 看護師や助産師の育成及び確保のため、看護師等修学資金貸与制度を継続して実施する。	・看護師及び助産師を育成・確保するため、看護師等修学資金貸与を継続して行い、新規貸与者4名を含む計14名に修学資金の貸与を実施し、貸与終了者5名のうち4名が当機構職員として入職した。  【実績】看護師等修学資金の貸与 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">貸与</td> <td>貸与者</td> <td>14名</td> <td>15名</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>うち新規貸与決定者</td> <td>6名</td> <td>5名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">終了</td> <td>貸与終了者(A)</td> <td>8名</td> <td>4名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>うち法人就職者(B)</td> <td>8名</td> <td>2名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>入職率(B/A)</td> <td>100%</td> <td>50%</td> <td>80%</td> </tr> </tbody> </table>	区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	貸与	貸与者	14名	15名	14名	うち新規貸与決定者	6名	5名	4名	終了	貸与終了者(A)	8名	4名	5名	うち法人就職者(B)	8名	2名	4名	入職率(B/A)	100%	50%	80%																																								
区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																	
貸与	貸与者	14名	15名	14名																																																																	
	うち新規貸与決定者	6名	5名	4名																																																																	
終了	貸与終了者(A)	8名	4名	5名																																																																	
	うち法人就職者(B)	8名	2名	4名																																																																	
	入職率(B/A)	100%	50%	80%																																																																	
⑥ 看護師の資質向上のため、専門看護師及び認定看護師の新規取得のほか、新たに看護師の特定行為研修修了者の増加を目指す。  【目標】法人全体 <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定行為研修修了者、専門看護師資格の新規取得者数又は認定看護師資格の新規取得者数</td> <td>期間中5名以上</td> </tr> <tr> <td>特定行為研修修了者</td> <td>期間中4名以上</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値	特定行為研修修了者、専門看護師資格の新規取得者数又は認定看護師資格の新規取得者数	期間中5名以上	特定行為研修修了者	期間中4名以上	⑥ 看護師の資質向上のため、専門看護師及び認定看護師の新規取得及び看護師の特定行為研修修了者の増加に努める。  ・看護師の資質向上のため、認定看護師の新規取得のほか、特定行為、専門看護師研修者を育成した。 ・自施設で実施している特定行為研修(術中麻酔管理領域パッケージ)については3名受講修了した。  【実績】認定看護師等研修派遣 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>専門看護師</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>特定行為研修</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table> ・目標である各種看護師資格の取得者数及び特定行為研修修了者数について、目標値を大幅に上回ることができた。  【実績】各種看護師資格の新規取得者数(法人全体)※期間中5名以上 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td></td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>専門看護師</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td></td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>特定行為</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td></td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4名</td> <td>3名</td> <td>6名</td> <td></td> <td>13名</td> </tr> </tbody> </table> 【実績】特定行為研修修了者数 ※期間中4名以上 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定行為</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td></td> <td>8名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	認定看護師	1名	2名	2名	専門看護師	0名	1名	1名	特定行為研修	3名	2名	3名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計	認定看護師	1名	1名	2名		4名	専門看護師	0名	0名	1名		1名	特定行為	3名	2名	3名		8名	計	4名	3名	6名		13名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計	特定行為	3名	2名	3名		8名				
目標とする指標	目標値																																																																				
特定行為研修修了者、専門看護師資格の新規取得者数又は認定看護師資格の新規取得者数	期間中5名以上																																																																				
特定行為研修修了者	期間中4名以上																																																																				
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																		
認定看護師	1名	2名	2名																																																																		
専門看護師	0名	1名	1名																																																																		
特定行為研修	3名	2名	3名																																																																		
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計																																																																
認定看護師	1名	1名	2名		4名																																																																
専門看護師	0名	0名	1名		1名																																																																
特定行為	3名	2名	3名		8名																																																																
計	4名	3名	6名		13名																																																																
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計																																																																
特定行為	3名	2名	3名		8名																																																																
イ 事務職員の確保と専門性の向上																																																																					
病院運営の高度化・複雑化に対応できる組織を作るため、事務職員の適切な採用及び配置を行うとともに、研修会等への参加の奨励及び支援等により、専門性と資質の向上に努める。	病院運営の高度化・複雑化に対応できる組織を作るため、事務職員の適切な採用及び配置を行うとともに、研修会等への参加の奨励及び支援等により、専門性と資質の向上に努める。	・病院運営の高度化・複雑化に対応できる組織を作るため、2名の事務職員を採用し、各課に配置することで、他業務、他職種との連携体制を構築した。 ・新規採用職員研修を実施し、病院の運営方針等を学ぶことを通して専門性と資質の向上に努めた。 ・事務職員の専門性と資質の向上のため、事務職員資格取得支援制度を活用し、令和4年度は、診療情報管理士に2名合格し、通信教育(診療情報管理士)を1名受講開始した。	B	B	自己評価のとおり	B																																																															
ウ 職員の勤務環境の改善																																																																					
① 職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう、定期健康診断等の実施のほか、ストレスチェックによるメンタルヘルス対策及びハラスメント対策の充実を図る。	① 職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう、定期健康診断等の実施のほか、ストレスチェックによるメンタルヘルス対策及びハラスメント対策の充実を図る。	・職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう定期健康診断を実施し、長期休業者(育休等)を除いた職員の受診率は100%であった。 ・ストレスチェックでは、より多くの職員が受検できるよう、受検方法を「紙一択」から「紙・ウェブ選択可」とし、89.5%の職員が実施した。ハラスメント研修を新規採用者にも実施し、対策を強化した。  【実績】ストレスチェックの受診状況(日本海総合病院) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施率</td> <td>87.80%</td> <td>91.10%</td> <td>89.50%</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度	令和3年度	令和4年度	実施率	87.80%	91.10%	89.50%	A	A	自己評価のとおり	B																																																							
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																		
実施率	87.80%	91.10%	89.50%																																																																		



中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																
② 介護や子育て等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進し、さらに院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育の継続など、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努める。	② 介護や子育て等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進し、さらに院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育の継続など、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努める。	<p>・介護や子育て等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進した。さらに院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育の継続、男性の育児休暇取得の推進など、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努めた。</p> <p>・女性活躍推進が優良である等の一定の要件を満たし、山形労働局から、女性活躍推進法に基づく認定(えるぼし認定)を受けた。</p> <p>【実績】医師短時間職員制度等利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師短時間</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>育児部分休業</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>育児短時間勤務</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>育児時間</td> <td>5名</td> <td>4名</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>ベビーシッター等助成金</td> <td>1名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>ハウスクリーニング等助成金</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>屋外清掃作業助成金</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	医師短時間	2名	3名	3名	育児部分休業	0名	0名	1名	育児短時間勤務	0名	1名	1名	育児時間	5名	4名	18名	ベビーシッター等助成金	1名	0名	0名	ハウスクリーニング等助成金	3名	3名	2名	屋外清掃作業助成金	1名	1名	0名				
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																			
医師短時間	2名	3名	3名																																			
育児部分休業	0名	0名	1名																																			
育児短時間勤務	0名	1名	1名																																			
育児時間	5名	4名	18名																																			
ベビーシッター等助成金	1名	0名	0名																																			
ハウスクリーニング等助成金	3名	3名	2名																																			
屋外清掃作業助成金	1名	1名	0名																																			
③ 医師事務作業補助者及び看護補助者等の適正な配置等により、医師をはじめ各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努める。	③ 医師事務作業補助者及び看護補助者等の適正な配置等により、医師をはじめ各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努める。	<p>・病棟、外来及び文書作成に医師事務作業補助者を下記のとおり配置し、医師をはじめとする各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努めた。</p> <p>【実績】医事クラーク配置数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>68名</td> <td>70名</td> <td>76名</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	68名	70名	76名																														
令和2年度	令和3年度	令和4年度																																				
68名	70名	76名																																				
(3) 医療サービスの効果的な提供																																						
ア 地域連携の推進																																						
① 地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、訪問看護ステーションの在り方の検討等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努める。さらに、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」をはじめとしたICTの活用などにより、地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携の推進に努める。	① 地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間の連携強化、訪問看護ステーションの在り方の検討等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努める。さらに、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」をはじめとしたICTの活用などにより、地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携の推進に努める。	<p>・地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間の連携強化、訪問看護ステーションの在り方の検討等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。</p> <p>・地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」をはじめとしたICTの活用などにより、山形県全域および秋田県との地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携、「あきたハートフルネット」との診療情報の相互連携を継続的に行った。</p> <p>【実績】ちようかいネット・あきたハートフルネット相互閲覧件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5件</td> <td>41件</td> <td>48件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度から運用開始</p> <p>【実績】ちようかいネット・あきたハートフルネット相互閲覧件数(コンテンツ別)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンテンツ</th> <th>令和2～4年度 合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>処方(指示)</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>注射(指示)</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>検査</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>画像(指示)</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>画像一覧(画像の参照)</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>サマリービュー</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>ノート(記録)</td> <td>7件</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5件	41件	48件	コンテンツ	令和2～4年度 合計	処方(指示)	10件	注射(指示)	1件	検査	5件	画像(指示)	5件	レポート	1件	画像一覧(画像の参照)	64件	サマリービュー	1件	ノート(記録)	7件	A	S	昨年度と比較して悪くなった箇所はないため、昨年度同様の評価とする。	S								
令和2年度	令和3年度	令和4年度																																				
5件	41件	48件																																				
コンテンツ	令和2～4年度 合計																																					
処方(指示)	10件																																					
注射(指示)	1件																																					
検査	5件																																					
画像(指示)	5件																																					
レポート	1件																																					
画像一覧(画像の参照)	64件																																					
サマリービュー	1件																																					
ノート(記録)	7件																																					
② 地域の医療サービスを効果的に提供するため、連携協力医登録制度の活用などにより、かかりつけ医への紹介等連携を図る。日本海総合病院では、毎年度において、紹介率55%以上及び逆紹介率75%以上を達成することを目標とする。	② 地域の医療サービスを効果的に提供するため、連携協力医登録制度の活用などにより、かかりつけ医への紹介等連携を図る。	<p>・地域の医療サービスを効果的に提供するため、連携協力医登録制度を活用し、医療福祉センターの逆紹介サポート窓口において、社会福祉士が患者と面談し逆紹介について相談できる体制を構築するなど、かかりつけ医への紹介等連携を図った。</p> <p>【実績】紹介率、逆紹介率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>70.3%</td> <td>62.4%</td> <td>67.8%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>105.4%</td> <td>97.1%</td> <td>97.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・目標である紹介率及び逆紹介率について、目標値を大幅に上回ることができた。</p> <p>【実績】紹介率、逆紹介率(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>70.3%</td> <td>○</td> <td>62.4%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>105.4%</td> <td>○</td> <td>97.1%</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	紹介率	70.3%	62.4%	67.8%	逆紹介率	105.4%	97.1%	97.0%	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	紹介率	70.3%	○	62.4%	○	逆紹介率	105.4%	○	97.1%	○	S	S	自己評価のとおり	S					
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																			
紹介率	70.3%	62.4%	67.8%																																			
逆紹介率	105.4%	97.1%	97.0%																																			
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																		
紹介率	70.3%	○	62.4%	○																																		
逆紹介率	105.4%	○	97.1%	○																																		

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																						
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																				
<b>イ 診療情報の共有化、地域クリティカルパスの活用</b>																																										
① 地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進する。	① 地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進する。	<p>・地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化の推進を図ったことから、前年度と比べ登録患者が5,519名増加した。</p> <p>【実績】登録患者数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録患者数</td> <td>49,337名</td> <td>55,131名</td> <td>60,650名</td> </tr> <tr> <td>開示施設数</td> <td>8施設</td> <td>8施設</td> <td>8施設</td> </tr> <tr> <td>閲覧施設数</td> <td>234施設</td> <td>237施設</td> <td>249施設</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	登録患者数	49,337名	55,131名	60,650名	開示施設数	8施設	8施設	8施設	閲覧施設数	234施設	237施設	249施設	A	A	自己評価のとおり	A																				
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																							
登録患者数	49,337名	55,131名	60,650名																																							
開示施設数	8施設	8施設	8施設																																							
閲覧施設数	234施設	237施設	249施設																																							
② 効率的で適切な医療を提供するため、地域連携クリティカルパスの活用を推進する。	② 効率的で適切な医療を提供するため、地域連携クリティカルパスの活用を推進する。	<p>・効率的で適切な医療を提供するため、患者への負担軽減及び他の医療機関との機能分担を図りながら、地域連携クリティカルパスを継続して活用した。</p> <p>・地域連携クリティカルパスの運用により、他の医療・介護福祉機関と連携し支援を行った。</p> <p>【実績】地域連携クリティカルパス適用件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腸がん</td> <td>22件</td> <td>24件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>11件</td> <td>7件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>18件</td> <td>15件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>大腿骨近位部骨折</td> <td>100件</td> <td>102件</td> <td>88件</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>178件</td> <td>183件</td> <td>165件</td> </tr> <tr> <td>心臓リハビリテーション</td> <td>99件</td> <td>98件</td> <td>86件</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td>4件</td> <td>5件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	大腸がん	22件	24件	11件	乳がん	11件	7件	8件	胃がん	18件	15件	9件	大腿骨近位部骨折	100件	102件	88件	脳卒中	178件	183件	165件	心臓リハビリテーション	99件	98件	86件	前立腺がん	4件	5件	0件								
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																							
大腸がん	22件	24件	11件																																							
乳がん	11件	7件	8件																																							
胃がん	18件	15件	9件																																							
大腿骨近位部骨折	100件	102件	88件																																							
脳卒中	178件	183件	165件																																							
心臓リハビリテーション	99件	98件	86件																																							
前立腺がん	4件	5件	0件																																							
<b>(4)教育研修事業の充実</b>																																										
<b>ア 庄内地域における医療水準の向上</b>																																										
庄内地域における医療水準の向上に寄与するため、引き続き、関連大学の医学生を積極的に受け入れ、また、酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として看護師を育成するなど、質の高い医療従事者の育成に努める。さらに、救急救命士の技能向上等が図られるよう、救急救命士への実習等を行う。	① 庄内地域における医療水準の向上に寄与するため、引き続き、関連大学の医学生を積極的に受け入れ、また、酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として看護師を育成するなど、質の高い医療従事者の育成に努める。	<p>・臨床研修医及びレジデントの受け入れ並びに山形大学からのスチューデントドクター及び東北大学からの地域医療実習生を継続して受け入れ、質の高い医療従事者の育成に努めた。</p> <p>【実績】臨床研修医等の受入れ状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研修医</td> <td>28名</td> <td>26名</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>専攻医(レジデント)</td> <td>40名</td> <td>42名</td> <td>39名</td> </tr> <tr> <td>スチューデントドクター(山形大学)</td> <td>45名</td> <td>68名</td> <td>66名</td> </tr> <tr> <td>高次臨床修練生(東北大学)</td> <td>3名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として看護師を育成するなど、質の高い医療従事者の育成に努めた。</p> <p>【実績】酒田看護専門学校実習実績(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実習学生数</td> <td>78名</td> <td>73名</td> <td>77名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】酒田看護専門学校実習実績(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実習学生数</td> <td>26名</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	臨床研修医	28名	26名	28名	専攻医(レジデント)	40名	42名	39名	スチューデントドクター(山形大学)	45名	68名	66名	高次臨床修練生(東北大学)	3名	1名	2名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実習学生数	78名	73名	77名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実習学生数	26名	—	—	B	A	県内でも模範となる取組を進めており、学生を多く受け入れている点は評価できる。	A
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																							
臨床研修医	28名	26名	28名																																							
専攻医(レジデント)	40名	42名	39名																																							
スチューデントドクター(山形大学)	45名	68名	66名																																							
高次臨床修練生(東北大学)	3名	1名	2名																																							
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																							
実習学生数	78名	73名	77名																																							
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																							
実習学生数	26名	—	—																																							
	② 救急救命士の技能向上等が図られるよう、救急救命士への実習等を行う。	<p>・救急救命士の技能向上等が図られるよう、救急救命士養成課程の就業前研修、再教育実習、山形県消防学校救急科の病院実習を実施し、計36名の実習生の受入れを行った。</p> <p>【実績】実習生受入人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就業前研修</td> <td>1名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>再教育実習</td> <td>33名</td> <td>31名</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>病院実習</td> <td>10名</td> <td>7名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>44名</td> <td>41名</td> <td>36名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	就業前研修	1名	3名	2名	再教育実習	33名	31名	30名	病院実習	10名	7名	4名	計	44名	41名	36名																				
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																							
就業前研修	1名	3名	2名																																							
再教育実習	33名	31名	30名																																							
病院実習	10名	7名	4名																																							
計	44名	41名	36名																																							

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価														
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価												
<b>イ 住民意識の啓発活動</b>																		
住民の健康意識の向上のため、関係機関と連携し啓発活動に努める。また、地域住民を対象としたセミナーの実施や広報誌「あきほ」の活用等を通じた、医療や健康に関する情報の発信に努める。	住民の健康意識の向上のため、関係機関と連携し啓発活動に努める。また、地域住民を対象としたセミナーの実施や広報誌「あきほ」の活用等を通じた、医療や健康に関する情報の発信に努める。	<p>・住民の健康意識の向上のため、住民を対象としたセミナーとして、生涯学習施設「里仁館」で開催された健康講座に職員を派遣し、関係機関と連携し、啓発活動に努めた。また、病院広報誌「あきほ」の活用等を通して、医療や健康に関する情報を発信し、啓発活動を行った。</p> <p>【実績】健康講座(開催場所:酒田市総合文化センター)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年5月25日</td> <td>『変形性骨関節症の治療』 診療部長(兼)整形外科部長 菅原 裕史 氏</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td>令和4年6月15日</td> <td>『心臓とくすり』 主任薬剤師 佐藤 遼 氏</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>令和4年7月27日</td> <td>『誤嚥性肺炎予防』 主任言語聴覚士 八楯 恵理 氏</td> <td>19名</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容等	参加人数	令和4年5月25日	『変形性骨関節症の治療』 診療部長(兼)整形外科部長 菅原 裕史 氏	25名	令和4年6月15日	『心臓とくすり』 主任薬剤師 佐藤 遼 氏	19名	令和4年7月27日	『誤嚥性肺炎予防』 主任言語聴覚士 八楯 恵理 氏	19名				
開催日	内容等	参加人数																
令和4年5月25日	『変形性骨関節症の治療』 診療部長(兼)整形外科部長 菅原 裕史 氏	25名																
令和4年6月15日	『心臓とくすり』 主任薬剤師 佐藤 遼 氏	19名																
令和4年7月27日	『誤嚥性肺炎予防』 主任言語聴覚士 八楯 恵理 氏	19名																
<b>3 患者・住民の満足度の向上</b>																		
① 来院者の意見等を取り入れ、院内環境等の快適性の向上、受付から会計までの在院時間の短縮等改善に努める。また、入退院支援センターの活用により入院から退院まで包括的にサポートできる体制を整備する。	① 来院者の意見等を取り入れ、院内環境等の快適性の向上、受付から会計までの在院時間の短縮等改善に努める。また、入退院支援センターの活用により入院から退院まで包括的にサポートできる体制を整備する。	<p>・来院者の意見等を取り入れ、院内環境等の快適性の向上、受付から会計までの在院時間の短縮等改善に努めた。また、入退院支援センターの活用により入院から退院まで包括的にサポートできる体制を整備した。</p> <p>・外来看護師や事務などの関係者が、受付から会計までの在院時間の短縮等を目的としたミーティングを定期的に開催し、業務フローの見直しや人員配置の変更など改善に努めた。</p> <p>・入退院支援センターでは、退院時に医療費を支払いたいという患者や患者家族等の利便性を向上させるため退院時会計を実施した。</p> <p>【実績】入退院支援加算(入院時支援加算有り) 算定件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,317件</td> <td>2,457件</td> <td>2,342件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※入退院支援センター:令和2年2月17日から運用開始</p>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	2,317件	2,457件	2,342件	A	A	自己評価のとおり	A						
令和2年度	令和3年度	令和4年度																
2,317件	2,457件	2,342件																
② ウェブサイト及び広報誌等を通じ、それぞれの病院及び診療所の役割等に関する情報を分かりやすく提供する。	② ウェブサイト及び広報誌等を通じ、それぞれの病院及び診療所の役割等に関する情報を分かりやすく提供する。	<p>・ウェブサイト及び広報誌等を通じ、それぞれの病院や診療所の役割等に関する情報を分かりやすく提供するため、ホームページでの病院情報の発信や病院広報誌「あきほ」の発行により、地域住民に分かりやすく、かつ幅広い情報発信を行った。</p> <p>・目標である病院広報誌発行回数については、目標値どおり発行することができた。</p> <p>【実績】病院広報誌発行回数(法人全体)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4回</td> <td>○</td> <td>4回</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	4回	○	4回	○								
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度															
4回	○	4回	○															
<b>4 法令等の遵守と情報公開の推進</b>																		
① 職員に対する、法令及び倫理綱領並びに適正な病院運営と業務執行等におけるコンプライアンスの周知徹底に取り組む。	① 職員に対する、法令及び倫理綱領並びに適正な病院運営と業務執行等におけるコンプライアンスの周知徹底に取り組む。	<p>・職員研修において、法令及び倫理綱領並びに業務執行等におけるコンプライアンスの内容を周知するとともに、法令遵守、職務遂行を就業規則に規定し院内イントラネットで常時周知するなど、職員に対して周知徹底に取り組んだ。</p>	B	B	自己評価のとおり	B												
② 医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び山形県個人情報保護条例に基づき、また文書管理については、山形県公文書等管理条例に基づき、それぞれ適切に対応する。	② 医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び山形県個人情報保護条例に基づき、また文書管理については、山形県公文書等管理条例に基づき、それぞれ適切に対応する。	<p>・インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ等医療情報の情報開示については、山形県情報公開条例及び山形県個人情報保護条例に基づき、県の機関に準じて適切に行った。</p> <p>【実績】診療情報提供申出件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43件</td> <td>59件</td> <td>43件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・文書管理についても、山形県公文書等管理条例に基づき、県の機関に準じて保存・廃棄等適切に対応した。</p>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	43件	59件	43件										
令和2年度	令和3年度	令和4年度																
43件	59件	43件																
③ セキュリティに関する研修会等により、適切な情報管理や情報セキュリティ対策の強化を図る。	③ セキュリティに関する研修会等により、適切な情報管理や情報セキュリティ対策の強化を図る。	<p>・適切な情報管理や情報セキュリティ対策の強化を図るため、全職員に向けたe-ラーニング研修を実施し、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」に新規参加する介護事業者及び新たに利用開始するユーザーに対して、対面でのセキュリティ研修会を実施した。</p> <p>【実績】職員セキュリティ研修</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>参加状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全職員対象e-ラーニング</td> <td>562名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】ちようかいネットセキュリティ研修会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>参加状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規参加介護事業者等</td> <td>12名</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	参加状況	全職員対象e-ラーニング	562名	対象者	参加状況	新規参加介護事業者等	12名								
対象者	参加状況																	
全職員対象e-ラーニング	562名																	
対象者	参加状況																	
新規参加介護事業者等	12名																	



中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																														
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																												
<b>5 医療安全対策の充実・強化</b>																																																																		
<p>住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策及び院内感染対策に関する研修を行うなど、診療プロセス全体におけるリスクマネジメントの強化を図る。</p> <p>【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>医療安全対策及び院内感染対策に係る研修</td> <td>毎年度 4回以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	医療安全対策及び院内感染対策に係る研修	毎年度 4回以上	<p>住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策及び院内感染対策に関する研修を行うなど、診療プロセス全体におけるリスクマネジメントの強化を図る。</p> <p>【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>医療安全対策及び院内感染対策に係る研修</td> <td>4回以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	医療安全対策及び院内感染対策に係る研修	4回以上	<p>・住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策及び院内感染対策に関する研修を各2回行った。診療プロセス全体におけるリスクマネジメントの強化を図った。</p> <p>・開催方法については、開催当日の集合研修の他に、未受講者に対して開催当日の録画映像の上映やeラーニングによる配信など、より多くの職員が受講できるよう取り組んだ。</p> <p>【実績】医療安全研修会(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年9月8日</td> <td>第1回 医療安全全体研修会 『日本赤十字社医療センターにおけるRRSの取組と現状』 日本赤十字社医療センター 救命救急センター長 林 宗博 氏</td> <td>1,005名</td> </tr> <tr> <td>令和4年12月16日</td> <td>第2回 医療安全全体研修会 『医療メディエーション室の取り組み』4年間の実績比較 医療メディエーション主幹 佐藤 由枝 氏</td> <td>1,046名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】院内感染対策研修会(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年12月20日</td> <td>第1回 院内感染対策研修会 『新型コロナウイルス感染症について～今知っておきたいこと～』 呼吸器内科 診療部長(兼)内科部長 町屋 純一 氏</td> <td>1,134名</td> </tr> <tr> <td>令和5年1月27日</td> <td>第2回 院内感染対策研修会 『VREアウトブレイク-私たちは「手指衛生と環境整備」でVREアウトブレイクを乗り越えた-』 青森県立中央病院 感染管理室 感染管理認定看護師 赤平 恵美 氏</td> <td>1,074名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】医療安全研修会(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年10月14日 令和4年10月21日</td> <td>第1回 医療安全研修会・動画配信 患者誤認による重大事故対策を中心に</td> <td>139名</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月 8日 令和5年3月15日</td> <td>第2回 医療安全研修会・動画配信 安全のための改善活動</td> <td>101名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】院内感染対策研修会(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年7月26日 令和4年7月29日 令和4年8月 3日</td> <td>第1回 院内感染対策研修会・動画配信 感染経路別予防策 ～院内全体で取り組む感染対策の基礎～</td> <td>105名</td> </tr> <tr> <td>令和4年12月20日 令和4年12月23日 令和4年12月26日</td> <td>第2回 院内感染対策研修会・動画配信 接触感染予防策 ～新型コロナウイルスの特性と効果的な感染対策、PPEの着脱方法～</td> <td>108名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・目標である医療安全対策及び院内感染対策に係る研修について、目標値どおり実施することができた。</p> <p>【実績】医療安全対策及び院内感染対策に係る研修回数 (日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>4回</td> <td>○</td> <td>4回</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>4回</td> <td>○</td> <td>4回</td> <td>○</td> </tr> </table>	開催日	研修内容等	参加人数	令和4年9月8日	第1回 医療安全全体研修会 『日本赤十字社医療センターにおけるRRSの取組と現状』 日本赤十字社医療センター 救命救急センター長 林 宗博 氏	1,005名	令和4年12月16日	第2回 医療安全全体研修会 『医療メディエーション室の取り組み』4年間の実績比較 医療メディエーション主幹 佐藤 由枝 氏	1,046名	開催日	研修内容等	参加人数	令和4年12月20日	第1回 院内感染対策研修会 『新型コロナウイルス感染症について～今知っておきたいこと～』 呼吸器内科 診療部長(兼)内科部長 町屋 純一 氏	1,134名	令和5年1月27日	第2回 院内感染対策研修会 『VREアウトブレイク-私たちは「手指衛生と環境整備」でVREアウトブレイクを乗り越えた-』 青森県立中央病院 感染管理室 感染管理認定看護師 赤平 恵美 氏	1,074名	開催日	研修内容等	参加人数	令和4年10月14日 令和4年10月21日	第1回 医療安全研修会・動画配信 患者誤認による重大事故対策を中心に	139名	令和5年3月 8日 令和5年3月15日	第2回 医療安全研修会・動画配信 安全のための改善活動	101名	開催日	研修内容等	参加人数	令和4年7月26日 令和4年7月29日 令和4年8月 3日	第1回 院内感染対策研修会・動画配信 感染経路別予防策 ～院内全体で取り組む感染対策の基礎～	105名	令和4年12月20日 令和4年12月23日 令和4年12月26日	第2回 院内感染対策研修会・動画配信 接触感染予防策 ～新型コロナウイルスの特性と効果的な感染対策、PPEの着脱方法～	108名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	4回	○	4回	○	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	4回	○	4回	○	B	B	自己評価のとおり	B
目標とする指標	目標値																																																																	
医療安全対策及び院内感染対策に係る研修	毎年度 4回以上																																																																	
目標とする指標	目標値																																																																	
医療安全対策及び院内感染対策に係る研修	4回以上																																																																	
開催日	研修内容等	参加人数																																																																
令和4年9月8日	第1回 医療安全全体研修会 『日本赤十字社医療センターにおけるRRSの取組と現状』 日本赤十字社医療センター 救命救急センター長 林 宗博 氏	1,005名																																																																
令和4年12月16日	第2回 医療安全全体研修会 『医療メディエーション室の取り組み』4年間の実績比較 医療メディエーション主幹 佐藤 由枝 氏	1,046名																																																																
開催日	研修内容等	参加人数																																																																
令和4年12月20日	第1回 院内感染対策研修会 『新型コロナウイルス感染症について～今知っておきたいこと～』 呼吸器内科 診療部長(兼)内科部長 町屋 純一 氏	1,134名																																																																
令和5年1月27日	第2回 院内感染対策研修会 『VREアウトブレイク-私たちは「手指衛生と環境整備」でVREアウトブレイクを乗り越えた-』 青森県立中央病院 感染管理室 感染管理認定看護師 赤平 恵美 氏	1,074名																																																																
開催日	研修内容等	参加人数																																																																
令和4年10月14日 令和4年10月21日	第1回 医療安全研修会・動画配信 患者誤認による重大事故対策を中心に	139名																																																																
令和5年3月 8日 令和5年3月15日	第2回 医療安全研修会・動画配信 安全のための改善活動	101名																																																																
開催日	研修内容等	参加人数																																																																
令和4年7月26日 令和4年7月29日 令和4年8月 3日	第1回 院内感染対策研修会・動画配信 感染経路別予防策 ～院内全体で取り組む感染対策の基礎～	105名																																																																
令和4年12月20日 令和4年12月23日 令和4年12月26日	第2回 院内感染対策研修会・動画配信 接触感染予防策 ～新型コロナウイルスの特性と効果的な感染対策、PPEの着脱方法～	108名																																																																
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																															
4回	○	4回	○																																																															
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																															
4回	○	4回	○																																																															



中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																				
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																		
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置																							
1 組織マネジメントの強化、災害発生時の業務継続性の確保																								
<p>① 運営委員会、診療部代表者会議、業務改善委員会、経営会議等を通して内部統制の推進を図るとともに、自律性のある効率的な業務運営を行う。</p> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>内部監査</td> <td>毎年度2項目以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	内部監査	毎年度2項目以上	<p>① 運営委員会、診療部代表者会議、業務改善委員会、経営会議等を通して内部統制の推進を図るとともに、自律性のある効率的な業務運営を行う。</p> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>内部監査</td> <td>2項目以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	内部監査	2項目以上	<p>・運営委員会、診療部代表者会議、業務改善委員会、経営会議等を定期的に行い、内部統制の推進を図った。</p> <p>・自律性のある効率的な業務運営を行うため、内部による医療費未収金集金業務及び委託契約、物件購入契約等に係る会計監査を実施した。</p> <p>・目標である内部監査について、目標値どおり実施することができた。</p> <p>【実績】内部監査実施項目数 法人全体</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>2項目</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	2項目	○	○	○		B	B	自己評価のとおり	B
目標とする指標	目標値																							
内部監査	毎年度2項目以上																							
目標とする指標	目標値																							
内部監査	2項目以上																							
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																				
2項目	○	○	○																					
<p>② 災害発生時でも医療提供機能が損なわれないよう、また万が一、一時的な機能低下状態に陥っても速やかに回復できるよう、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP(業務継続計画)に基づき業務の継続性を確保する。</p>	<p>② 災害発生時でも医療提供機能が損なわれないよう、また万が一、一時的な機能低下状態に陥っても速やかに回復できるよう、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP(業務継続計画)に基づき業務の継続性を確保する。</p>	<p>・災害発生時等において、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP(事業継続計画)に基づき業務の継続性を確保できるよう、災害対策マニュアル・BCPマニュアル等の見直しを行った。</p>																						
2 診療体制の強化、人員配置の弾力的運用																								
<p>医療需要の変化に対応するため、医療従事者の適切な配置等を行い、診療体制の適正化を図る。また、多様な勤務形態及び専門的職種等の活用を図り、効率的な業務運営に努める。</p>	<p>医療需要の変化に対応するため、医療従事者の適切な配置等を行い、診療体制の適正化を図る。また、多様な勤務形態及び専門的職種等の活用を図り、効率的な業務運営に努める。</p>	<p>・医療需要の変化に迅速かつ的確に対応するため、定期的な人事異動により適材適所の配置に努めるとともに、診療体制の適正化を図った。</p> <p>・医師短時間正職員制度を利用することで、医師がキャリアを中断することなく安心して意欲的に勤務できるよう努め、多様な勤務形態の活用を図った。</p> <p>・感染対策部門、診療録管理部門等に専門性の高い職員を配置し、入退院支援センターでは多職種が協力し、効果的な業務運営を行った。</p>	B	B	自己評価のとおり	B																		
3 業務の効率化、職員の意欲向上																								
<p>① 各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い業務の効率化に努める。また、各業務においては、連携、機能分化の推進に努めるとともに、業務負担軽減に繋がるようタスクシフティングの推進等について検討する。</p>	<p>① 各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い業務の効率化に努める。また、各業務においては、連携、機能分化の推進に努めるとともに、業務負担軽減に繋がるようタスクシフティングの推進等に努める。</p>	<p>・各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い、業務の効率化に努めた。</p> <p>【実績】業務改善委員会(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <td>新規提案</td> <td>23件</td> <td>33件</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>終了</td> <td>16件</td> <td>27件</td> <td>19件</td> </tr> </table> <p>・各業務において連携、機能分化の推進に努め、手術室においては、特定看護師を配置、麻酔アシスタント制度により臨床工学技士2名を活用し、タスクシフトを推進した。</p>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	新規提案	23件	33件	15件	終了	16件	27件	19件	A	A	自己評価のとおり	A						
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																					
新規提案	23件	33件	15件																					
終了	16件	27件	19件																					
<p>② 職員の能力や経験等を適切に評価し、昇任等に反映することで意欲向上を図るとともに、将来の病院運営を担う人材を育成する。</p>	<p>② 職員の能力や経験等を適切に評価し、昇任等に反映することで意欲向上を図るとともに、将来の病院運営を担う人材を育成する。</p>	<p>・職員の能力や経験を適切に評価し、昇任に反映させ意欲向上を図るとともに、将来の病院経営を担う人材を育成するため、医療職108名、事務職8名を昇任させ、リーダーシップを発揮できる人材の育成を行った。</p>																						

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																																				
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																																																		
4 経営基盤の安定化																																																																																								
(1)収入の確保																																																																																								
<p>① 診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応するため、施設基準の取得や見直しを行うとともに、DPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、日本海総合病院では、DPC特定病院群の適用を維持し収益の確保を図る。</p>	<p>① 診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応するため、施設基準の取得や見直しを行うとともに、DPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、日本海総合病院では、DPC特定病院群の適用を維持し収益の確保を図る。</p>	<p>・診療報酬改定で新設された急性期充実体制加算を取得するため、院内体制を整備した。急性期充実体制加算を取得したことで、従来の総合入院体制加算に比べて大幅な増収につながった。 急性期充実体制加算取得による増収額:259,343,100円 ・また、新たに強度変調放射線治療の施設基準等を取得し、増収を図った。 新規施設基準取得による増収額:155,632,250円</p> <p>・日本海総合病院ではDPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、令和5年度もDPC特定病院群が適用となった。また、収益の確保を図るため、経営会議にて要件の確認及び報告、院内の関係部署との連携、データ解析や運用改善を行った。 ・目標であるDPC特定病院群の適用について、目標値どおり維持することができた。</p>	A	A	自己評価のとおり	A																																																																																		
<p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>DPC特定病院群適用</td> <td>期間中継続</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	DPC特定病院群適用	期間中継続		<p>【実施】DPC特定病院群適用(法人全体)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>適用 ○</td> <td>適用 ○</td> <td>適用 ○</td> <td>適用 ○</td> </tr> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	適用 ○	適用 ○	適用 ○	適用 ○																																																																										
目標とする指標	目標値																																																																																							
DPC特定病院群適用	期間中継続																																																																																							
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																					
適用 ○	適用 ○	適用 ○	適用 ○																																																																																					
<p>② 退院時会計の推進等により未収金の発生防止に努め、また、未収金が発生した場合は、多様な方法により早期回収に努める。</p>	<p>② 退院時会計の推進等により未収金の発生防止に努め、また、未収金が発生した場合は、多様な方法により早期回収に努める。</p>	<p>・入退院支援センターでの退院時会計を引き続き実施し、土曜日に退院する患者についても退院時会計を行い、未収金の発生防止に努めた。 ・未収金が発生した際には、督促・催告状の発行に加え分納納入や集金の対応、弁護士法人への委託によって、早期回収に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響下において、支払いに困難な事情がある患者に向き合い、長期的に支払いの契機を伺いながら回収に努めた。</p>																																																																																						
(2)費用の抑制																																																																																								
<p>医療を取り巻く環境の変化や患者動向に対応し、給与水準や職員配置の適正化、業務の委託等により、人件費の適正化に努める。また、材料費についても収益の状況を常に把握しながら費用削減に努め、医薬品においては、地域フォーミュラの推進を図り後発医薬品の使用促進に努める。</p>	<p>医療を取り巻く環境の変化や患者動向に対応し、給与水準や職員配置の適正化、業務の委託等により、人件費の適正化に努める。また、材料費についても収益の状況を常に把握しながら費用削減に努め、医薬品においては、地域フォーミュラの推進を図り後発医薬品の使用促進に努める。</p>	<p>・医療を取り巻く環境の変化や患者動向に対応し、給与水準や職員配置の適正化、業務の委託等により人件費の適正化に努め、材料費についても、収益の状況を把握しながら費用削減に努めた。また、医薬品については、地域フォーミュラの推進を図り、後発医薬品の使用促進に努めた。</p>	A	A	自己評価のとおり	A																																																																																		
<p>【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>後発医薬品数量シェア率</td> <td>毎年度85%以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	後発医薬品数量シェア率	毎年度85%以上	<p>【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>後発医薬品数量シェア率</td> <td>85%以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	後発医薬品数量シェア率	85%以上	<p>【実績】費用に係る比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">令和2年度</th> <th colspan="3">令和3年度</th> <th colspan="3">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院(法人管理部含む)</td> <td>43.4%</td> <td>28.7%</td> <td>16.3%</td> <td>44.1%</td> <td>29.1%</td> <td>16.9%</td> <td>42.8%</td> <td>28.4%</td> <td>16.6%</td> </tr> <tr> <td>日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>77.3%</td> <td>1.8%</td> <td>0.8%</td> <td>78.1%</td> <td>2.0%</td> <td>0.9%</td> <td>81.8%</td> <td>1.9%</td> <td>0.7%</td> </tr> <tr> <td>日本海八幡クリニック等診療所</td> <td>54.5%</td> <td>11.1%</td> <td>9.8%</td> <td>55.6%</td> <td>10.6%</td> <td>9.2%</td> <td>55.0%</td> <td>9.2%</td> <td>7.5%</td> </tr> <tr> <td>病院機構全体</td> <td>45.4%</td> <td>27.0%</td> <td>15.4%</td> <td>46.1%</td> <td>27.4%</td> <td>15.9%</td> <td>44.9%</td> <td>26.8%</td> <td>15.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・目標である後発医薬品数量シェア率について、日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院とも目標値を上回る事ができた。</p> <p>【実績】後発医薬品数量シェア率</p> <p>(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>89%</td> <td>○</td> <td>90%</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>89%</td> <td>○</td> <td>94%</td> <td>○</td> </tr> </table>	区分	令和2年度			令和3年度			令和4年度			職員給与費	材料費	うち薬品費	職員給与費	材料費	うち薬品費	職員給与費	材料費	うち薬品費	日本海総合病院(法人管理部含む)	43.4%	28.7%	16.3%	44.1%	29.1%	16.9%	42.8%	28.4%	16.6%	日本海酒田リハビリテーション病院	77.3%	1.8%	0.8%	78.1%	2.0%	0.9%	81.8%	1.9%	0.7%	日本海八幡クリニック等診療所	54.5%	11.1%	9.8%	55.6%	10.6%	9.2%	55.0%	9.2%	7.5%	病院機構全体	45.4%	27.0%	15.4%	46.1%	27.4%	15.9%	44.9%	26.8%	15.7%	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	89%	○	90%	○	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	89%	○	94%	○			
目標とする指標	目標値																																																																																							
後発医薬品数量シェア率	毎年度85%以上																																																																																							
目標とする指標	目標値																																																																																							
後発医薬品数量シェア率	85%以上																																																																																							
区分	令和2年度			令和3年度			令和4年度																																																																																	
	職員給与費	材料費	うち薬品費	職員給与費	材料費	うち薬品費	職員給与費	材料費	うち薬品費																																																																															
日本海総合病院(法人管理部含む)	43.4%	28.7%	16.3%	44.1%	29.1%	16.9%	42.8%	28.4%	16.6%																																																																															
日本海酒田リハビリテーション病院	77.3%	1.8%	0.8%	78.1%	2.0%	0.9%	81.8%	1.9%	0.7%																																																																															
日本海八幡クリニック等診療所	54.5%	11.1%	9.8%	55.6%	10.6%	9.2%	55.0%	9.2%	7.5%																																																																															
病院機構全体	45.4%	27.0%	15.4%	46.1%	27.4%	15.9%	44.9%	26.8%	15.7%																																																																															
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																					
89%	○	90%	○																																																																																					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																					
89%	○	94%	○																																																																																					

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																																																																																																	
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																																																																																																															
<p>第4 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画</p> <p>効率的かつ効果的な経営を持続するため、日頃から経営状況の把握や情報共有等に努める。さらに今後の医療環境の変化に対応し、各年度における法人全体の営業収支比率及び経常収支比率の目標を次のとおり設定するとともに、資金収支の均衡を図る。</p> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>毎年度100%以上</td> </tr> <tr> <td>営業収支比率</td> <td>毎年度100%以上</td> </tr> </table> <p>中期目標を着実に達成するための予算、収支計画及び資金計画については、別表1～3のとおり見込むこととする。また、各年度において的確な資金需要予測に基づく資金計画を立て、短期借入金の抑制に努める。</p>	目標とする指標	目標値	経常収支比率	毎年度100%以上	営業収支比率	毎年度100%以上	<p>第3 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画</p> <p>効率的かつ効果的な経営を持続するため、日頃から経営状況の把握や情報共有等に努める。さらに今後の医療環境の変化に対応し、各年度における法人全体の営業収支比率及び経常収支比率の目標を次のとおり設定するとともに、資金収支の均衡を図る。</p> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>100%以上</td> </tr> <tr> <td>営業収支比率</td> <td>100%以上</td> </tr> </table> <p>予算、収支計画及び資金計画については、別表1～3のとおり見込むこととする。また、的確な資金需要予測に基づく資金計画を立て、短期借入金の抑制に努める。</p>	目標とする指標	目標値	経常収支比率	100%以上	営業収支比率	100%以上	<p>・効率的かつ効果的な経営を持続するため、運営委員会や経営会議等において、各職員へ経営状況の情報共有等を図った。</p> <p>・適切な資金計画に基づき、法人全体の資金収支の均衡や短期借入金の抑制を図った。</p> <p>・目標である経常収支比率及び営業収支比率の目標値を上回ることができた。</p> <p>【実績】経常収支比率、営業収支比率(法人全体)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>105.8% ○</td> <td>104.6% ○</td> <td>106.7% ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>営業収支比率</td> <td>105.1% ○</td> <td>104.2% ○</td> <td>106.0% ○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>別表1 予算及び決算 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額 (決算 - 予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>25,373</td> <td>26,970</td> <td>1,597</td> </tr> <tr> <td>  営業収益</td> <td>23,230</td> <td>23,810</td> <td>580</td> </tr> <tr> <td>    医業収益</td> <td>21,837</td> <td>22,343</td> <td>506</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金</td> <td>1,393</td> <td>1,468</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>  営業外収益</td> <td>393</td> <td>1,422</td> <td>1,029</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金等</td> <td>58</td> <td>55</td> <td>△3</td> </tr> <tr> <td>    その他</td> <td>335</td> <td>1,366</td> <td>1,031</td> </tr> <tr> <td>  臨時利益</td> <td>11</td> <td>20</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>  資本収入</td> <td>1,739</td> <td>1,717</td> <td>△22</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金等</td> <td>1,076</td> <td>1,076</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    長期借入金</td> <td>660</td> <td>633</td> <td>△27</td> </tr> <tr> <td>    その他</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額 (決算 - 予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支出</td> <td>25,638</td> <td>25,446</td> <td>△192</td> </tr> <tr> <td>  営業費用</td> <td>22,451</td> <td>22,416</td> <td>△35</td> </tr> <tr> <td>    医業費用</td> <td>22,261</td> <td>22,243</td> <td>△18</td> </tr> <tr> <td>      給与費</td> <td>11,106</td> <td>11,055</td> <td>△51</td> </tr> <tr> <td>      材料費</td> <td>7,164</td> <td>7,227</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>      経費</td> <td>3,855</td> <td>3,883</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>      研究研修費</td> <td>136</td> <td>79</td> <td>△57</td> </tr> <tr> <td>    一般管理費</td> <td>190</td> <td>173</td> <td>△17</td> </tr> <tr> <td>  営業外費用</td> <td>140</td> <td>132</td> <td>△8</td> </tr> <tr> <td>  臨時損失</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>  資本支出</td> <td>3,047</td> <td>2,898</td> <td>△149</td> </tr> <tr> <td>    建設改良費</td> <td>1,123</td> <td>975</td> <td>△148</td> </tr> <tr> <td>    長期借入金返還金</td> <td>1,914</td> <td>1,914</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    奨学金貸付</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>    その他</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>△1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※項目毎に端数処理をしているため、合計額が一致しない項目がある。</p>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	経常収支比率	105.8% ○	104.6% ○	106.7% ○		営業収支比率	105.1% ○	104.2% ○	106.0% ○		区分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)	収入	25,373	26,970	1,597	営業収益	23,230	23,810	580	医業収益	21,837	22,343	506	運営費負担金	1,393	1,468	75	営業外収益	393	1,422	1,029	運営費負担金等	58	55	△3	その他	335	1,366	1,031	臨時利益	11	20	9	資本収入	1,739	1,717	△22	運営費負担金等	1,076	1,076	0	長期借入金	660	633	△27	その他	3	8	5	区分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)	支出	25,638	25,446	△192	営業費用	22,451	22,416	△35	医業費用	22,261	22,243	△18	給与費	11,106	11,055	△51	材料費	7,164	7,227	63	経費	3,855	3,883	28	研究研修費	136	79	△57	一般管理費	190	173	△17	営業外費用	140	132	△8	臨時損失	0	1	1	資本支出	3,047	2,898	△149	建設改良費	1,123	975	△148	長期借入金返還金	1,914	1,914	0	奨学金貸付	9	8	△1	その他	1	0	△1	A	A	自己評価のとおり	A
目標とする指標	目標値																																																																																																																																																				
経常収支比率	毎年度100%以上																																																																																																																																																				
営業収支比率	毎年度100%以上																																																																																																																																																				
目標とする指標	目標値																																																																																																																																																				
経常収支比率	100%以上																																																																																																																																																				
営業収支比率	100%以上																																																																																																																																																				
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																																																																																	
経常収支比率	105.8% ○	104.6% ○	106.7% ○																																																																																																																																																		
営業収支比率	105.1% ○	104.2% ○	106.0% ○																																																																																																																																																		
区分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)																																																																																																																																																		
収入	25,373	26,970	1,597																																																																																																																																																		
営業収益	23,230	23,810	580																																																																																																																																																		
医業収益	21,837	22,343	506																																																																																																																																																		
運営費負担金	1,393	1,468	75																																																																																																																																																		
営業外収益	393	1,422	1,029																																																																																																																																																		
運営費負担金等	58	55	△3																																																																																																																																																		
その他	335	1,366	1,031																																																																																																																																																		
臨時利益	11	20	9																																																																																																																																																		
資本収入	1,739	1,717	△22																																																																																																																																																		
運営費負担金等	1,076	1,076	0																																																																																																																																																		
長期借入金	660	633	△27																																																																																																																																																		
その他	3	8	5																																																																																																																																																		
区分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)																																																																																																																																																		
支出	25,638	25,446	△192																																																																																																																																																		
営業費用	22,451	22,416	△35																																																																																																																																																		
医業費用	22,261	22,243	△18																																																																																																																																																		
給与費	11,106	11,055	△51																																																																																																																																																		
材料費	7,164	7,227	63																																																																																																																																																		
経費	3,855	3,883	28																																																																																																																																																		
研究研修費	136	79	△57																																																																																																																																																		
一般管理費	190	173	△17																																																																																																																																																		
営業外費用	140	132	△8																																																																																																																																																		
臨時損失	0	1	1																																																																																																																																																		
資本支出	3,047	2,898	△149																																																																																																																																																		
建設改良費	1,123	975	△148																																																																																																																																																		
長期借入金返還金	1,914	1,914	0																																																																																																																																																		
奨学金貸付	9	8	△1																																																																																																																																																		
その他	1	0	△1																																																																																																																																																		

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																																																																														
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																																																																																												
		別表2 収支計画 (単位:百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額 (決算 - 予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>24,210</td> <td>25,815</td> <td>1,605</td> </tr> <tr> <td>  営業収益</td> <td>23,802</td> <td>24,384</td> <td>582</td> </tr> <tr> <td>    医業収益</td> <td>21,793</td> <td>22,299</td> <td>506</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>1,394</td> <td>1,468</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>    資産見返運営費負担金戻入</td> <td>615</td> <td>617</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>  営業外収益</td> <td>397</td> <td>1,421</td> <td>1,024</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>58</td> <td>55</td> <td>△3</td> </tr> <tr> <td>    その他医業外収益</td> <td>339</td> <td>1,366</td> <td>1,027</td> </tr> <tr> <td>  臨時利益</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>24,184</td> <td>24,214</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>  営業費用</td> <td>22,954</td> <td>23,000</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>    医業費用</td> <td>22,779</td> <td>22,840</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>    一般管理費</td> <td>175</td> <td>159</td> <td>△16</td> </tr> <tr> <td>  営業外費用</td> <td>1,207</td> <td>1,186</td> <td>△21</td> </tr> <tr> <td>  臨時損失</td> <td>23</td> <td>29</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>純利益</td> <td>26</td> <td>1,602</td> <td>1,576</td> </tr> </tbody> </table> ※項目毎に端数処理をしているため、合計額が一致しない項目がある。		区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)	収入	24,210	25,815	1,605	営業収益	23,802	24,384	582	医業収益	21,793	22,299	506	運営費負担金収益	1,394	1,468	74	資産見返運営費負担金戻入	615	617	2	営業外収益	397	1,421	1,024	運営費負担金収益	58	55	△3	その他医業外収益	339	1,366	1,027	臨時利益	11	10	△1	支出	24,184	24,214	30	営業費用	22,954	23,000	46	医業費用	22,779	22,840	61	一般管理費	175	159	△16	営業外費用	1,207	1,186	△21	臨時損失	23	29	6	純利益	26	1,602	1,576																																																											
区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)																																																																																																																															
収入	24,210	25,815	1,605																																																																																																																															
営業収益	23,802	24,384	582																																																																																																																															
医業収益	21,793	22,299	506																																																																																																																															
運営費負担金収益	1,394	1,468	74																																																																																																																															
資産見返運営費負担金戻入	615	617	2																																																																																																																															
営業外収益	397	1,421	1,024																																																																																																																															
運営費負担金収益	58	55	△3																																																																																																																															
その他医業外収益	339	1,366	1,027																																																																																																																															
臨時利益	11	10	△1																																																																																																																															
支出	24,184	24,214	30																																																																																																																															
営業費用	22,954	23,000	46																																																																																																																															
医業費用	22,779	22,840	61																																																																																																																															
一般管理費	175	159	△16																																																																																																																															
営業外費用	1,207	1,186	△21																																																																																																																															
臨時損失	23	29	6																																																																																																																															
純利益	26	1,602	1,576																																																																																																																															
		別表3 資金計画 (単位:百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額 (決算 - 予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金収入</td> <td>40,656</td> <td>40,977</td> <td>321</td> </tr> <tr> <td>  業務活動による収入</td> <td>23,634</td> <td>24,809</td> <td>1,175</td> </tr> <tr> <td>    診療業務による収入</td> <td>21,837</td> <td>21,991</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金による収入</td> <td>1,451</td> <td>1,503</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>    補助金等収入</td> <td>171</td> <td>1,169</td> <td>998</td> </tr> <tr> <td>    その他の業務活動による収入</td> <td>175</td> <td>145</td> <td>△30</td> </tr> <tr> <td>  投資活動による収入</td> <td>8,879</td> <td>9,223</td> <td>344</td> </tr> <tr> <td>    有価証券の売却による収入</td> <td>0</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>    定期預金の払出による収入</td> <td>7,800</td> <td>8,000</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金による収入</td> <td>1,076</td> <td>1,076</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    奨学金の返還による収入</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>△2</td> </tr> <tr> <td>    その他の投資活動による収入</td> <td>1</td> <td>47</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>  財務活動による収入</td> <td>660</td> <td>633</td> <td>△27</td> </tr> <tr> <td>    長期借入による収入</td> <td>660</td> <td>633</td> <td>△27</td> </tr> <tr> <td>前年度からの繰越金</td> <td>7,483</td> <td>6,313</td> <td>△1,170</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>33,438</td> <td>33,631</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>  業務活動による支出</td> <td>22,591</td> <td>22,545</td> <td>△46</td> </tr> <tr> <td>    人件費支出</td> <td>11,106</td> <td>11,190</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>    材料費支出</td> <td>7,164</td> <td>7,088</td> <td>△76</td> </tr> <tr> <td>    その他の業務活動による支出</td> <td>4,321</td> <td>4,267</td> <td>△54</td> </tr> <tr> <td>  投資活動による支出</td> <td>8,933</td> <td>9,171</td> <td>238</td> </tr> <tr> <td>    有形固定資産の取得による支出</td> <td>1,123</td> <td>1,049</td> <td>△74</td> </tr> <tr> <td>    有価証券の取得による支出</td> <td>0</td> <td>99</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>    定期預金の預入による支出</td> <td>7,800</td> <td>8,000</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>    奨学金の貸付による支出</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>    その他の投資活動による支出</td> <td>1</td> <td>15</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>  財務活動による支出</td> <td>1,914</td> <td>1,914</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    長期借入の返済による支出</td> <td>1,199</td> <td>1,199</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    移行前地方債償還債務等の償還による支出</td> <td>715</td> <td>714</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>翌年度への繰越金</td> <td>7,218</td> <td>7,346</td> <td>128</td> </tr> </tbody> </table> ※項目毎に端数処理をしているため、合計額が一致しない項目がある。		区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)	資金収入	40,656	40,977	321	業務活動による収入	23,634	24,809	1,175	診療業務による収入	21,837	21,991	154	運営費負担金による収入	1,451	1,503	52	補助金等収入	171	1,169	998	その他の業務活動による収入	175	145	△30	投資活動による収入	8,879	9,223	344	有価証券の売却による収入	0	100	100	定期預金の払出による収入	7,800	8,000	200	運営費負担金による収入	1,076	1,076	0	奨学金の返還による収入	2	0	△2	その他の投資活動による収入	1	47	46	財務活動による収入	660	633	△27	長期借入による収入	660	633	△27	前年度からの繰越金	7,483	6,313	△1,170	資金支出	33,438	33,631	193	業務活動による支出	22,591	22,545	△46	人件費支出	11,106	11,190	84	材料費支出	7,164	7,088	△76	その他の業務活動による支出	4,321	4,267	△54	投資活動による支出	8,933	9,171	238	有形固定資産の取得による支出	1,123	1,049	△74	有価証券の取得による支出	0	99	99	定期預金の預入による支出	7,800	8,000	200	奨学金の貸付による支出	9	8	△1	その他の投資活動による支出	1	15	14	財務活動による支出	1,914	1,914	0	長期借入の返済による支出	1,199	1,199	0	移行前地方債償還債務等の償還による支出	715	714	△1	翌年度への繰越金	7,218	7,346	128			
区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)																																																																																																																															
資金収入	40,656	40,977	321																																																																																																																															
業務活動による収入	23,634	24,809	1,175																																																																																																																															
診療業務による収入	21,837	21,991	154																																																																																																																															
運営費負担金による収入	1,451	1,503	52																																																																																																																															
補助金等収入	171	1,169	998																																																																																																																															
その他の業務活動による収入	175	145	△30																																																																																																																															
投資活動による収入	8,879	9,223	344																																																																																																																															
有価証券の売却による収入	0	100	100																																																																																																																															
定期預金の払出による収入	7,800	8,000	200																																																																																																																															
運営費負担金による収入	1,076	1,076	0																																																																																																																															
奨学金の返還による収入	2	0	△2																																																																																																																															
その他の投資活動による収入	1	47	46																																																																																																																															
財務活動による収入	660	633	△27																																																																																																																															
長期借入による収入	660	633	△27																																																																																																																															
前年度からの繰越金	7,483	6,313	△1,170																																																																																																																															
資金支出	33,438	33,631	193																																																																																																																															
業務活動による支出	22,591	22,545	△46																																																																																																																															
人件費支出	11,106	11,190	84																																																																																																																															
材料費支出	7,164	7,088	△76																																																																																																																															
その他の業務活動による支出	4,321	4,267	△54																																																																																																																															
投資活動による支出	8,933	9,171	238																																																																																																																															
有形固定資産の取得による支出	1,123	1,049	△74																																																																																																																															
有価証券の取得による支出	0	99	99																																																																																																																															
定期預金の預入による支出	7,800	8,000	200																																																																																																																															
奨学金の貸付による支出	9	8	△1																																																																																																																															
その他の投資活動による支出	1	15	14																																																																																																																															
財務活動による支出	1,914	1,914	0																																																																																																																															
長期借入の返済による支出	1,199	1,199	0																																																																																																																															
移行前地方債償還債務等の償還による支出	715	714	△1																																																																																																																															
翌年度への繰越金	7,218	7,346	128																																																																																																																															



中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価
第5 短期借入金の限度額	第4 短期借入金の限度額					
1 限度額 4,000百万円 2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応	1 限度額 4,000百万円 2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応	・短期借入金の実績なし	S	S	自己評価のとおり	S
第6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画 なし			—	—		—
第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画 なし			—	—		—
第8 剰余金の使途	第5 剰余金の使途					
決算において剰余を生じた場合は、施設の整備・修繕、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	決算において剰余を生じた場合は、施設の整備・修繕、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	・決算剰余金については、建設改良積立金に充当し、将来の施設整備及び医療機器の整備に備えた。	A	A	自己評価のとおり	A
第9 料金に関する事項	第6 料金に関する事項					
1 使用料及び手数料 (1)法令等に基づき算定する使用料及び手数料 病院を利用する者からは、使用料及び手数料として次に掲げる額を徴収する。 ア 健康保険法(大正11年法律第70号)、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)、介護保険法(平成9年法律第123号)その他の法令等に基づき算定した額 (2)その他の使用料及び手数料 前項の規定でない使用料及び手数料の額は、次に定めるところによる。 ア 山形労働局、地方公務員災害補償基金山形県支部その他の団体等との間における診療契約によるものについては、その契約の定める額 イ 前号以外にあつては、理事長が別に定める額 2 使用料及び手数料の減免 理事長が、特別の事情があると認めるときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができるものとする。	1 使用料及び手数料 (1)法令等に基づき算定する使用料及び手数料 病院を利用する者からは、使用料及び手数料として次に掲げる額を徴収する。 ア 健康保険法(大正11年法律第70号)、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)、介護保険法(平成9年法律第123号)その他の法令等に基づき算定した額 (2)その他の使用料及び手数料 前項の規定でない使用料及び手数料の額は、次に定めるところによる。 ア 山形労働局、地方公務員災害補償基金山形県支部その他の団体等との間における診療契約によるものについては、その契約の定める額 イ 前号以外にあつては、理事長が別に定める額 2 使用料及び手数料の減免 理事長が、特別の事情があると認めるときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができるものとする。	・料金の額は、計画に記載の基準等の規定により算定した額を徴収した。  ・計画に記載の契約等による額とした。  ・該当なし	B	B	自己評価のとおり	B

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																							
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																					
第10 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項																										
1 医療機器・施設整備に関する事項	1 医療機器・施設整備に関する事項																										
① 医療機器については、費用対効果、地域の医療需要、他機関との機能分担、医療技術の進展等、総合的に判断して整備する。施設整備については、これらに加え、老朽化の状況や緊急度、災害に対する耐性等を踏まえつつ、中長期的な視点のもと施設の長寿命化に向けた検討を行いながら、計画的に実施する。また日本海八幡クリニック等診療所については、酒田市と協議を行いながら医療機器・施設整備を図る。	① 医療機器については、費用対効果、地域の医療需要、他機関との機能分担、医療技術の進展等、総合的に判断して整備する。 ② 施設整備については、老朽化の状況や緊急度、災害に対する耐性等を踏まえつつ、中長期的な視点のもと施設の長寿命化に向けた検討を行いながら、計画的に実施する。また日本海八幡クリニック等診療所については、酒田市と協議を行いながら医療機器・施設整備を図る。	・医療機器については、費用対効果、地域の医療需要、他機関との機能分化、医療技術の進展等を総合的に判断し、手術用内視鏡システム、超音波画像診断装置の更新や、手術器具等の整備し、適切な医療の確保に努めた。 ・施設整備について、中長期計画に従い、緊急度が高い設備の修繕工事を行った。 【実績】修繕工事(日本海総合病院) <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th>契約額(円)</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用発電機改修工事</td> <td>61,600,000</td> <td>耐用年数を超過した非常用発電機の各種部品交換及び点検を行う。</td> </tr> <tr> <td>直流電源装置部品交換工事</td> <td>19,800,000</td> <td>耐用年数を超過した直流電源装置(整流器)1式の部品交換を行う。</td> </tr> <tr> <td>空調機ユニット更新工事</td> <td>10,010,000</td> <td>耐用年数の超過と塩害により劣化している空調機1基を更新する。</td> </tr> <tr> <td>エレベーター(1・2・3号機)更新工事</td> <td>121,440,000</td> <td>耐用年数を超過した機能維持に必要な部品の一部が製造終了となったエレベーター3基を更新する。</td> </tr> </tbody> </table> ・日本海八幡クリニック等診療所と飛島診療所において、電子カルテを導入し診療の効率化を図った。 ③ 地域の医療ニーズに対応するよう、今後の診療提供体制等の検討及び整備等を図る。	工事名	契約額(円)	概要	非常用発電機改修工事	61,600,000	耐用年数を超過した非常用発電機の各種部品交換及び点検を行う。	直流電源装置部品交換工事	19,800,000	耐用年数を超過した直流電源装置(整流器)1式の部品交換を行う。	空調機ユニット更新工事	10,010,000	耐用年数の超過と塩害により劣化している空調機1基を更新する。	エレベーター(1・2・3号機)更新工事	121,440,000	耐用年数を超過した機能維持に必要な部品の一部が製造終了となったエレベーター3基を更新する。	A	A	自己評価のとおり	A						
工事名	契約額(円)	概要																									
非常用発電機改修工事	61,600,000	耐用年数を超過した非常用発電機の各種部品交換及び点検を行う。																									
直流電源装置部品交換工事	19,800,000	耐用年数を超過した直流電源装置(整流器)1式の部品交換を行う。																									
空調機ユニット更新工事	10,010,000	耐用年数の超過と塩害により劣化している空調機1基を更新する。																									
エレベーター(1・2・3号機)更新工事	121,440,000	耐用年数を超過した機能維持に必要な部品の一部が製造終了となったエレベーター3基を更新する。																									
② 高額な医療機器・施設整備の更新及び整備については、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画(整備計画)のもとに行う。中期計画期間に係る医療機器・施設整備に関する計画は、別表4のとおりとする。		・高額な医療機器・施設整備の更新及び整備について、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な整備計画のもとに行い、計画どおりの更新・整備が実施できた。 【医療機器・施設設備の計画】 (単位:百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実績</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資本支出</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設改良費</td> <td>975</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> <tr> <td>施設整備</td> <td>511</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療機器等</td> <td>583</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ソフトウェア</td> <td>27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設仮勘定</td> <td>△146</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績	財源	資本支出			建設改良費	975	設立団体からの長期借入金等	施設整備	511		医療機器等	583		ソフトウェア	27		建設仮勘定	△146					
区分	実績	財源																									
資本支出																											
建設改良費	975	設立団体からの長期借入金等																									
施設整備	511																										
医療機器等	583																										
ソフトウェア	27																										
建設仮勘定	△146																										
2 法人が負担する債務の償還に関する事項																											
3 積立金の使途	2 積立金の使途																										
前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	・前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入等に充てた。	B	B	自己評価のとおり	B																					

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和4年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																														
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																												
4 その他法人の業務運営に関する事項	3 その他法人の業務運営に関する事項																																	
① 酒田市、公益財団法人やまがた健康推進機構及び診療所等との連携により、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実を図る。	① 酒田市、公益財団法人やまがた健康推進機構及び診療所等との連携により、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実を図る。	<p>・酒田市・公益財団法人やまがた健康推進機構および診療所等との連携、機能分担のもと、がん検診をはじめ地域の検診実施体制の充実を図った。</p> <p>・酒田市が実施している「内視鏡ドック」のうち、胸部CT、上部内視鏡検査、下部内視鏡検査を受託し実施した。酒田市の内視鏡ドックと併せ、PET/CT検査の受診促進のため、市民に周知した。</p> <p>【実績】検診等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡ドック</td> <td>80件</td> <td>78件</td> <td>93件</td> </tr> <tr> <td>PET/CT検診</td> <td>53件</td> <td>46件</td> <td>59件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・酒田市のふるさと納税ドックは、新型コロナウイルス感染拡大で延期となっていた令和元年申込の2名を実施した。</p> <p>【実績】ふるさと納税</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1泊2日(ドック)</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>2泊3日(ドック、PET)</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>PET/CT(半日)</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	内視鏡ドック	80件	78件	93件	PET/CT検診	53件	46件	59件	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	1泊2日(ドック)	0件	1件	0件	2泊3日(ドック、PET)	0件	0件	0件	PET/CT(半日)	0件	0件	2件	B	B	自己評価のとおり	B
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																															
内視鏡ドック	80件	78件	93件																															
PET/CT検診	53件	46件	59件																															
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																															
1泊2日(ドック)	0件	1件	0件																															
2泊3日(ドック、PET)	0件	0件	0件																															
PET/CT(半日)	0件	0件	2件																															
② 病児・病後児保育については、「庄内北部定住自立圏形成協定」により、酒田市以外に在住の乳幼児等も受入れを行い、また、事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受入れ及び保育園等からの送迎サービスを行う。	② 病児・病後児保育については、「庄内北部定住自立圏形成協定」により、酒田市以外に在住の乳幼児等も受入れを行い、また、事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受入れ及び保育園等からの送迎サービスを行う。	<p>・病児・病後児保育事業を酒田市から受託し、「庄内北部定住自立圏形成協定」により三川町、庄内町及び遊佐町に在住の乳幼児等も受け入れる体制を整え、日曜日、祝日、年末年始休業(12/29～1/3)を除き、通年で事業を継続して実施した。また、定員9名とし当日予約の受入れや事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受診付添いサービス及び保育園等からの病児送迎サービスを実施した。</p> <p>【実績】病児・病後児保育事業延べ利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>292名</td> <td>542名</td> <td>396名</td> </tr> <tr> <td>うち職員利用者数</td> <td>153名</td> <td>235名</td> <td>167名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】受診付添サービス等利用者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診付添サービス</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>病児送迎サービス</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度からサービス開始</p>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	利用者数	292名	542名	396名	うち職員利用者数	153名	235名	167名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	受診付添サービス	3名	3名	0名	病児送迎サービス	1名	1名	1名	B	B	自己評価のとおり	B				
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																															
利用者数	292名	542名	396名																															
うち職員利用者数	153名	235名	167名																															
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																															
受診付添サービス	3名	3名	0名																															
病児送迎サービス	1名	1名	1名																															
		S: 計画を大幅に上回っている(目標数値110%超)	6	7		7																												
		A: 計画を上回っている(目標数値100%超110%以下)	18	18		18																												
		B: 計画に概ね合致している(目標数値90%超100%以下)	18	17		17																												
		C: 計画をやや下回っている(目標数値60%超90%以下)	0	0		0																												
		D: 計画を下回っており、大幅な改善が必要(目標数値60%以下)	0	0		0																												
		計	42	42		42																												